

折紙探偵団

M A G A Z I N E

[イベント情報] 開催日決定!

第6回

折紙探偵団コンベンション

吉野一生基金招待者募集

The 6th Origami Tanteidan Convention / 4th Yoshino Issei Fund Invitation

定価 500円



[特集] I went across a bridge to find a new world

Quick Snap

クイック・スナップ

一橋を越えると
そこは新天地だったー

Kawamura Miyuki

川村みゆき

[今回の折り図]

馬

Horse : Model & diagrams by Komatsu Hideo

小松英夫

[好評連載]

Crease Pattern Challenge : Eastern Dragon Model designed by Nishikawa Seiji

西川誠司さんの展開図折りに挑戦! 「龍」

Tomoko in the Box

Fuse Tomoko

Tomoko's Shikishi-hyakka

Tanaka Tomoko

TOMOKOのびっくり箱 布施 知子

ともさんの色紙百花 田中 具子

Dr.Lang's Useful Geometry

Robert J.Lang

ラング博士の役に立つ幾何学(最終回) ロバート・J・ラング

通巻

60

号

日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

第一章 名称と目的

第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

第二条 会の目的

1. 本会は、折紙の専門研究と折紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折紙の専門研究とは、折紙の創作、折紙の創作技術の研究、折紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折紙の普及とは、折紙の社会的認知度の向上活動、折紙愛好者層の拡大活動、折紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

Chapter 1: Name and Purpose

Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, developing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening a recognition of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING



折紙探偵団

ORIGAMI TANTEIDAN MAGAZINE

No. 60

CONTENTS

■好評連載陣

TOMOKOのびっくり箱 奇数角形編 4
Tomoko in the Box Odd Polygons
五角箱 Pentagon Box
布施知子 Fuse Tomoko

ともこさんの色紙百花 8
Tomoko's Shikishi-hyakka
蒲公英 Dandelion
田中具子 Tanaka Tomoko

ラング博士の役に立つ幾何学 14
Dr. Lang's Useful Geometry
「比を折る」第六回(最終回) 角の等分
"Folding Proportions" Angle Divisions
ロバート J. ラング Robert J. Lang

日本の折紙史を読む 16
A Brief History of Paperfolding in Japan
第六回(最終回) 江戸時代の折紙 II
Origami in the Edo Era -Part 2-
岡村昌夫 Okamura Masao

折紙散歩 - 完結編 - 18
Origami Sampo (Origami Walk)
- I answer all pending question -
前川 淳 Maekawa Jun

■カラーページ

ORIGAMI PHOTO GALLERY 20
「蒲公英」田中具子/「五角箱(沈星・バブル)」
布施知子/「クイック・スナップ」川村みゆき/
「飛ぶセミ」川畑文昭/「ゴライアスオオツノハナム
グリ」西川誠司
Dandelion: Tanaka Tomoko/ Pentagon Box
(Sinking Star / Bubble): Fuse Tomoko/ Quick
Snap: Kawamura Miyuki/ Flying Cicada:
Kawahata Fumiaki/ Goliath Horned Flower Beetle:
Nishikawa Seiji

■特集

Quick Snap クイック・スナップ 11
一橋を越えるとそこは新天地だった—
I went across a bridge to find a new world
川村みゆき Kawamura Miyuki

■今回の折り図

馬 22
Horse
作・図: 小松英夫
Model & Diagrams
by Komatsu Hideo

補足的解説・蛇足のおしゃべり 32
Supplementary comment, supererogatory coze
小松英夫 Komatsu Hideo

西川誠司さんの展開図折りに挑戦! 33
Crease Pattern Challenge
龍 Eastern Dragon
西川誠司 Nishikawa Seiji

■インフォメーション

学会からのお知らせとお願い 22
From the Borad of JOAS
つまみおり Information 36
・関西コンベンション案内
Kansai Convention news
・吉野一生基海外金招待者募集
4th Yoshino Issel Fund Invitation
・折紙探偵団コンベンション日程決まる
Check out Origami Tanteidan Convention Updates

●第6回●

一枚折り

五角箱

Pentagon Box

奇数角形編

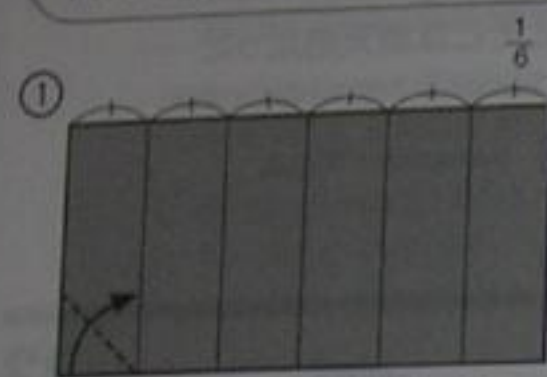
Odd Polygons

布施知子 Fuse Tomoko

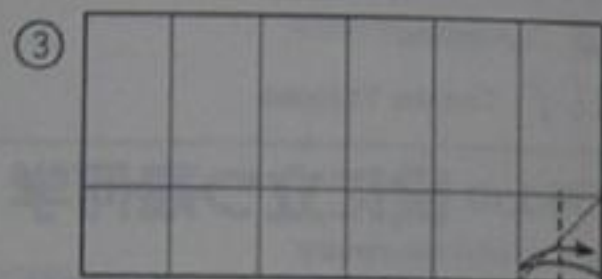
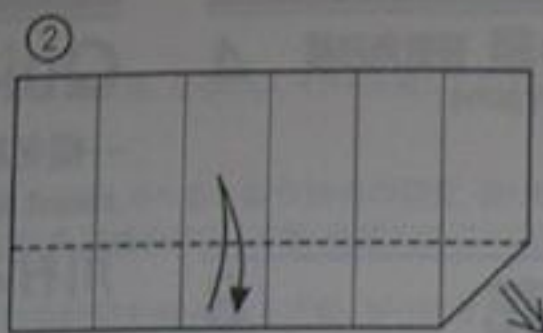
五角箱は第4回コンペーション折り図集に発表しましたが、これはそれより折りにくい分、きれいなできあがりになります。本体の方は最新刊に発表のものと同じですが、ふたはそこに書ききれなかった、より技術が必要なものです。なお、この折り出しは正確なものではなく、誤差があります。



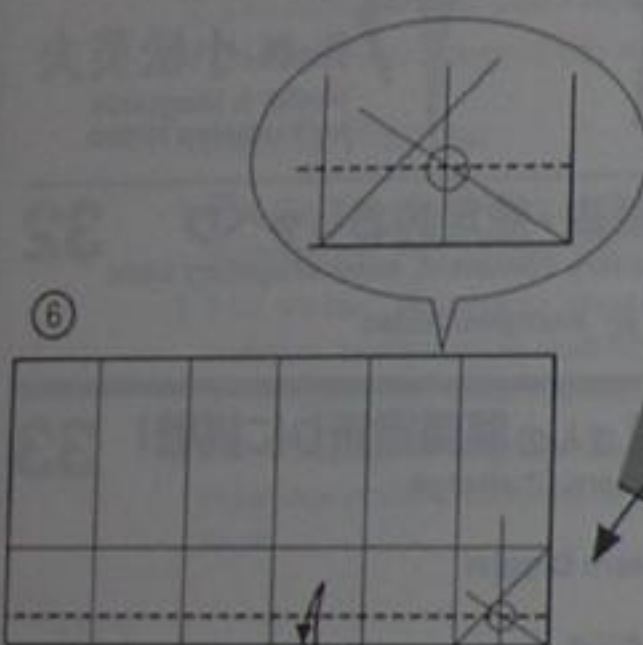
初めはA4判(210×297mm)を1:2に切った紙で練習するとよい



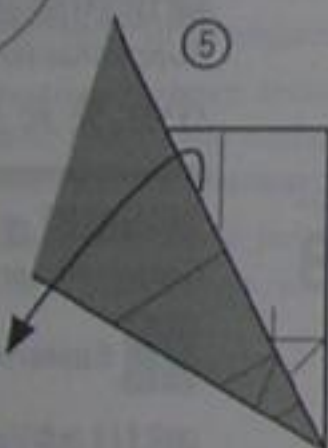
辺を6等分し、山線谷線両方の折り線をつけてから折る



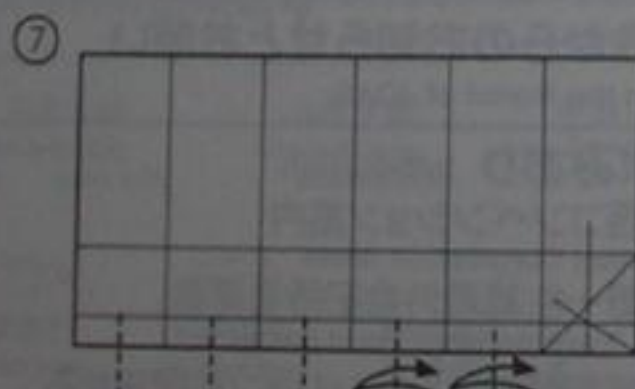
辺を交点に合わせて折る



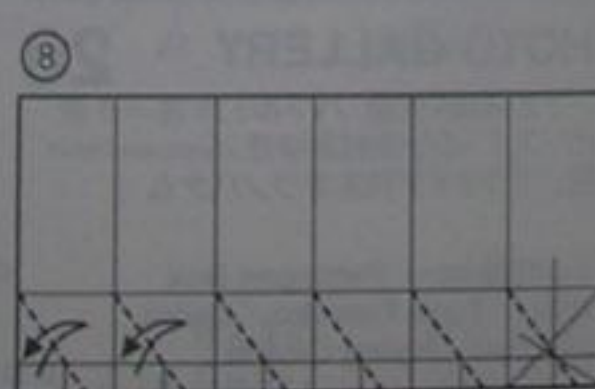
縦線と⑤の折り線の交点で折る



辺と交点が入るので○印内は点がずれる



折り線をつける



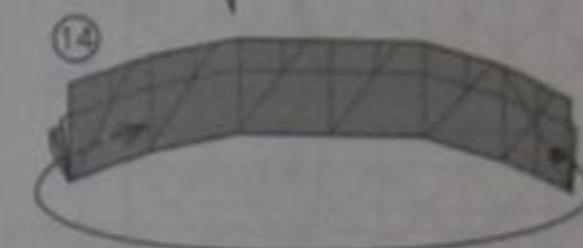
折り線をつける



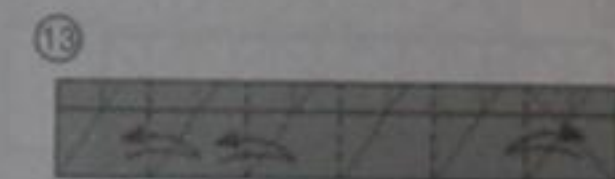
平らにしたところ



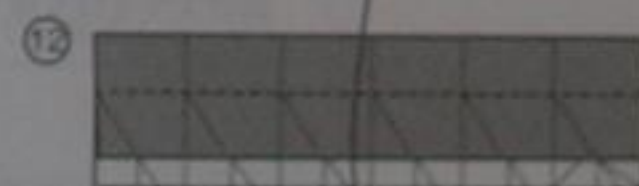
まず内側の一枚をねじって底を平らにする



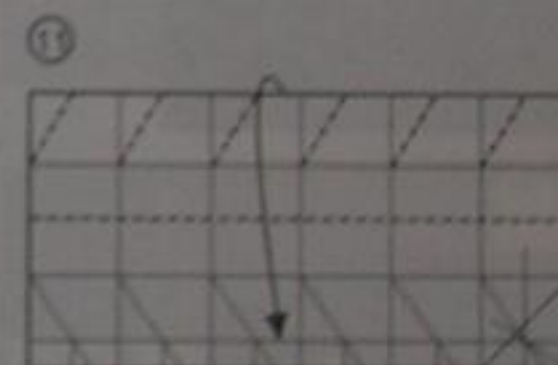
端をはさんで5角の輪にする



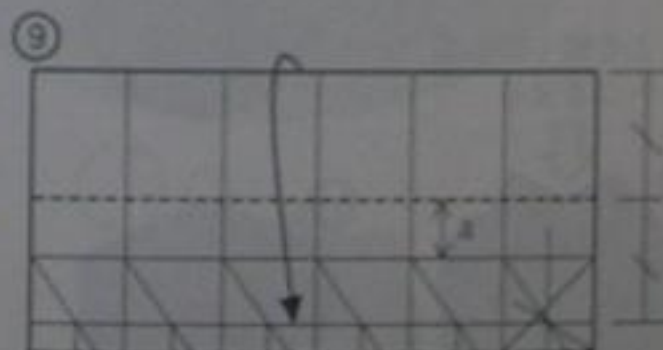
しっかり折り線をつける



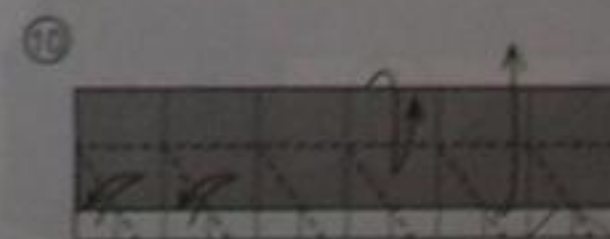
上へ大きく折り上げる



上の部分だけ、山線を谷線に変えてまた⑬まで戻す



(aが箱の深さになる)



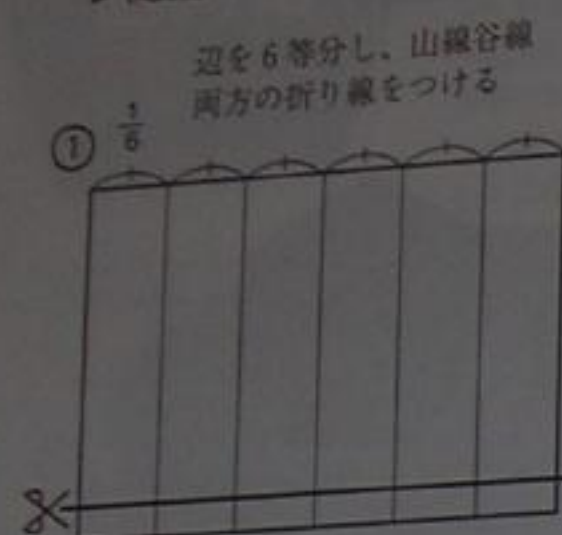
内側と外側をいっしょに、図のような折り線をつけたら開く

五角箱ふた 沈星・バブル

Lid of Pentagon box Sinking Star / Bubble

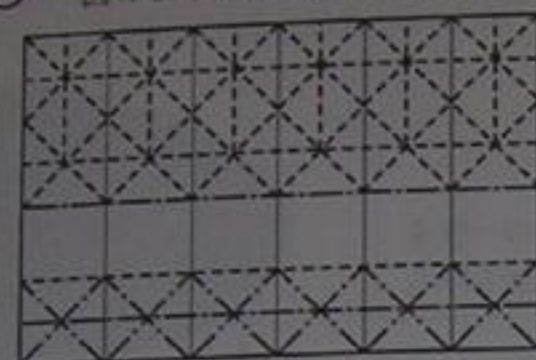
沈星

一見複雑そうですが、コツはそれぞれの折り線をきちんとつけることにつきます。星が落ちてきて沈んだようなものなので、沈星(ちんせい)と名づけました。

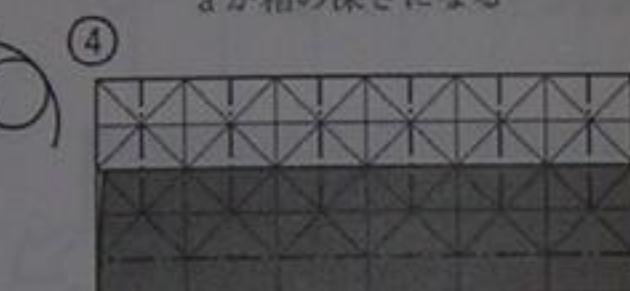


初めはA4判(210×297mm)を図のように1~2cmくらい切り取った紙で練習するとよい

② 図のような折り線をつける



a が箱の深さになる



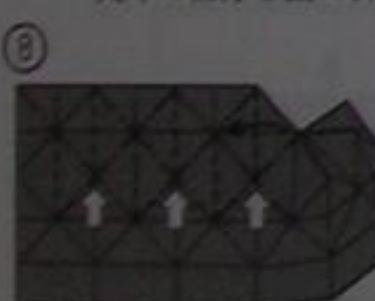
図のような折り線をつける



矢印の部分を凸に折る

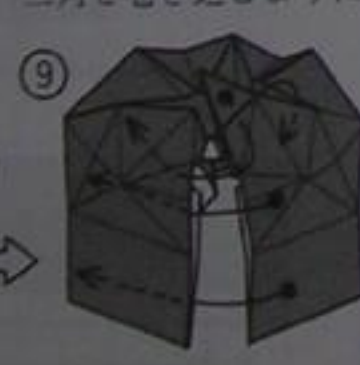


矢印の部分を凸に折る

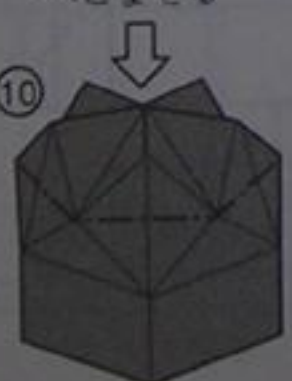


矢印の部分が凸になるように、順に凹凸をつけてまとめていく

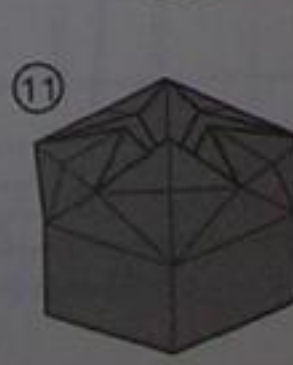
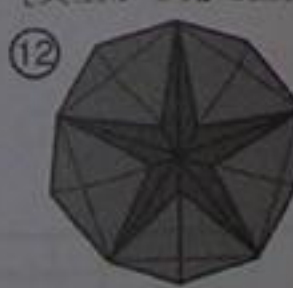
⑤のb(図の△印)の間に、最後に折った三角をはさんで、一つぶん重ねて5角にする。実際は内側から見て、bを開いて三角を巻き込むようにする。



上を軽く押してへこませる



[真上から見た図]



「冬の散歩」

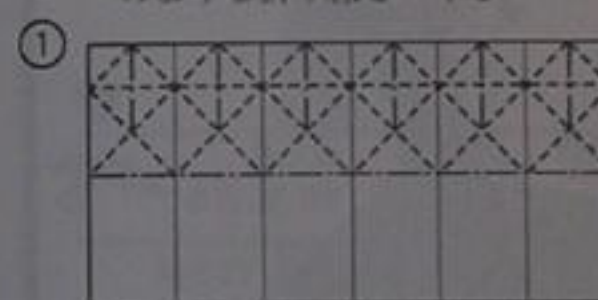
散歩に出て、雪の上に刻まれた動物の足跡を見る。わくわくする。タヌキのことこ歩き。キツネの軽快な一本線。リスは木からぱっと飛び降りて行け行けそれ行け別の木へ。テンの足跡にはいつも逆「ひ」の字を当ててしまう。くなくと、ちょっと不思議な曲りをする背中。走る喜びを隠しきれないのか、イヌの足跡は運びに無駄と乱れが多い。白い冷たいくはみから、生き生きとした暮らし、動物たちの体温を感じる。同じ時空にしながら、別な視線で生きている。そのことに思い至り、新しい血が流れ出す。なぜか愉快な幸せな気持ち。身ひとつ、いつも手ぶらの君たちは、えらい!

冬は山の輪郭がはっきり見える。木々は葉を落とし、地には雪が積もり、坊主頭のように地肌がわかる。「あらあ、あの山、Tさんの頭だ!」近くで雑木の伐採が始まった。チェーンソーの音が一日聞こえる。架線を張って、足場を組んで、たき火をして。相当な斜度。伐採に携わっているのは三人くらい。日によってちがうが、みな高齢者だ。口あんぐりで、その技を急斜面に見上げる。シイタケの原木とチップ用らしい。気温がどんなに下がっても凍らない湧き水の際、フキの枯葉をたぐると、ほら、あった、フキノトウ。

ポケットにおさめてまた歩き出す。ポケットはありがたいなあ。ヒトは衣服というカラダにポケットをもっている。
* * * * *
夜半に月が出た。どきんと息をのむ。なんという輝き。「谷間の村だからこそ、狭い空だからこそ、月はいっそう輝く、てなことを俳句に詠めたらなあ」と連れ合いに述べた。景色から、毎日たくさんのよいものを受け取っている。

バブル

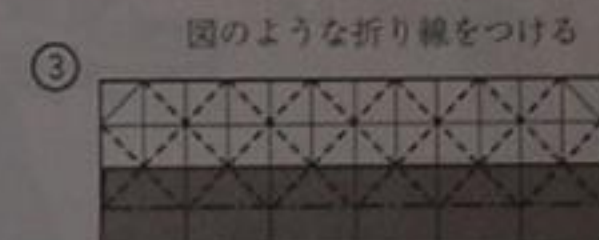
辺を6等分し、山線谷線両方の折り線をつけたものに、図のような折り線をつける



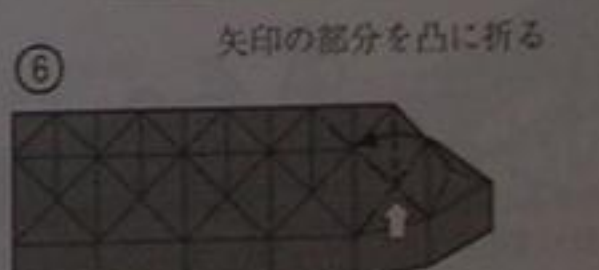
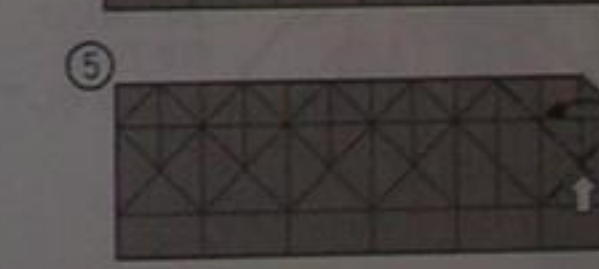
初めはA4判(210×297mm)を4分の1切り取ったものか、辺の比が1:2の紙で練習するとよい



a が箱の深さになる

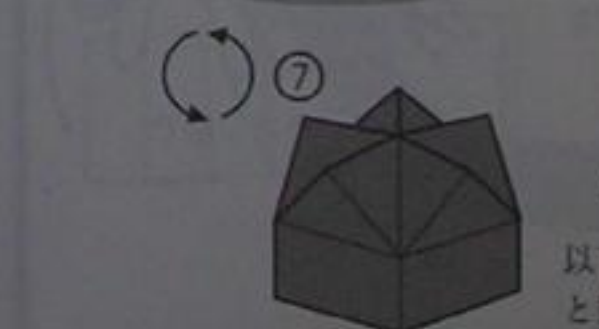
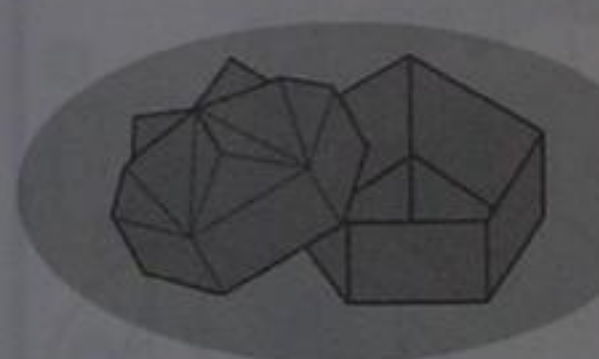


図のような折り線をつける



矢印の部分を凸に折る

矢印の部分を凸に折る



以下、「沈星」の⑧から同じ要領でまとめる

布施知子新刊案内

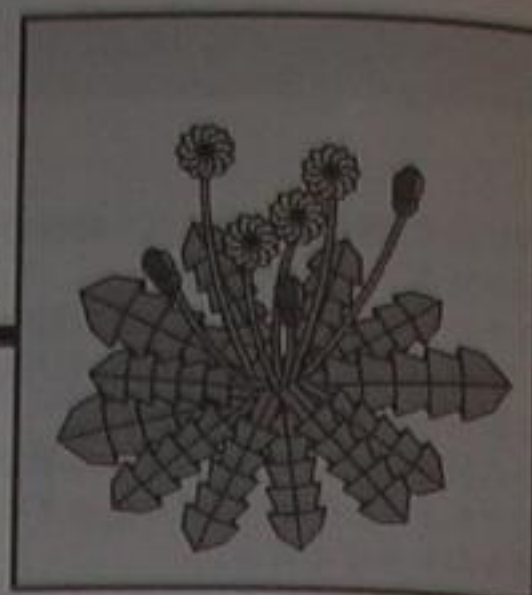
3月25日に2年半ぶりの新刊が出ます。
「プレゼントの箱」(折り紙雑貨店1)
「暮らしに折り紙」(折り紙雑貨店2)
筑摩書房各¥1400円

色紙 百花

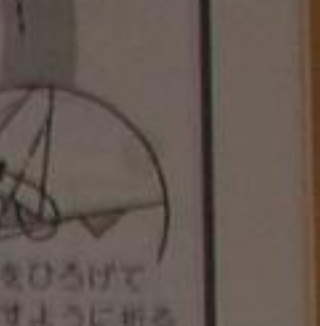
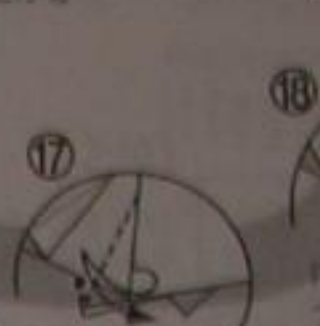
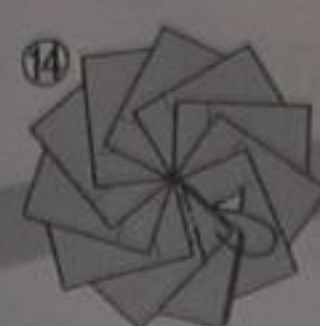
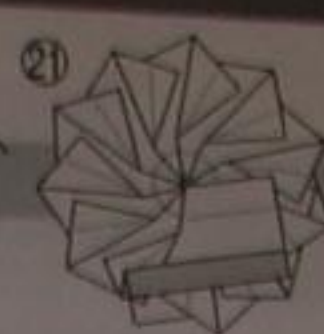
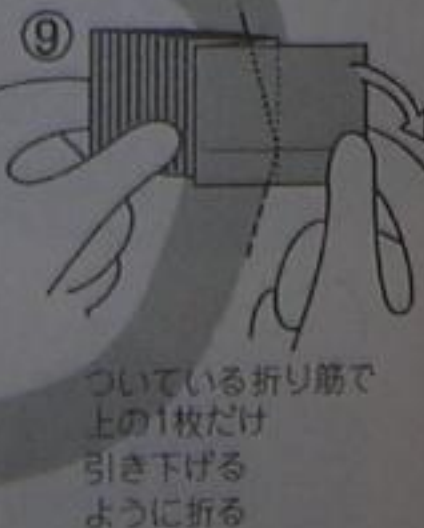
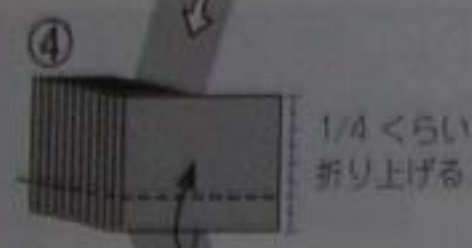
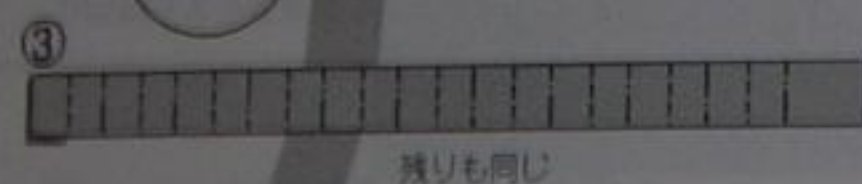
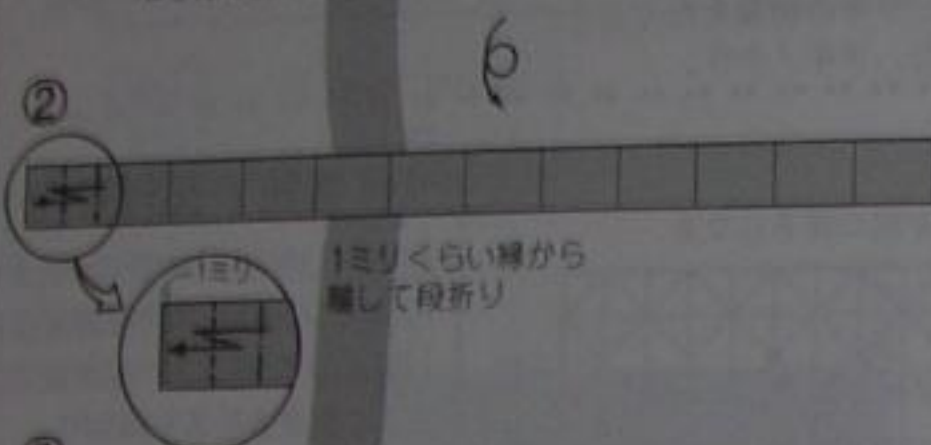
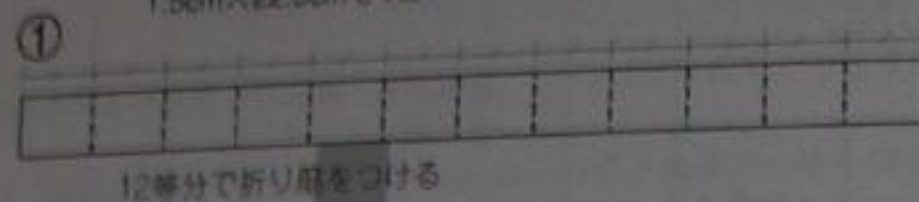
たんぽぽ 蒲公英 Dandelion

田中具子
Tanaka Tomoko

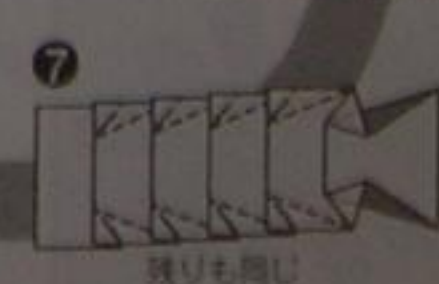
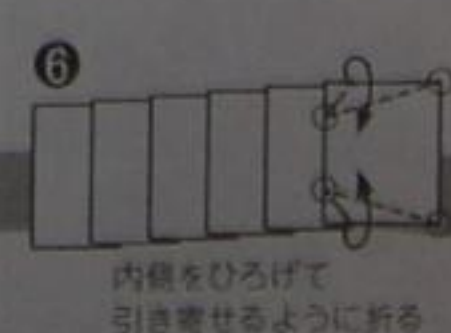
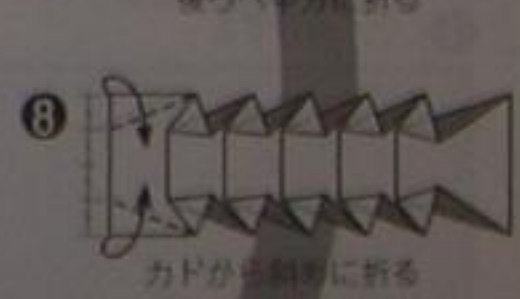
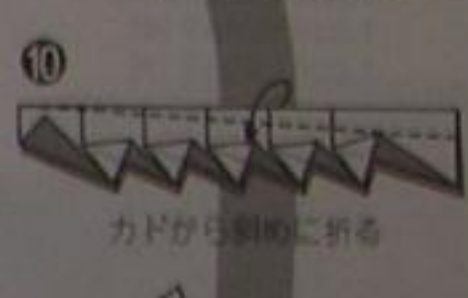
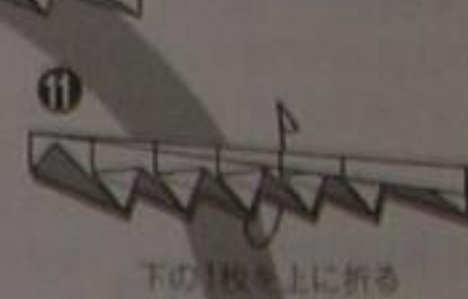
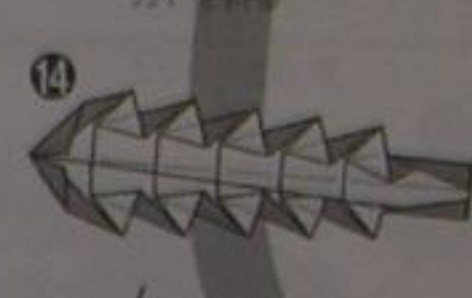
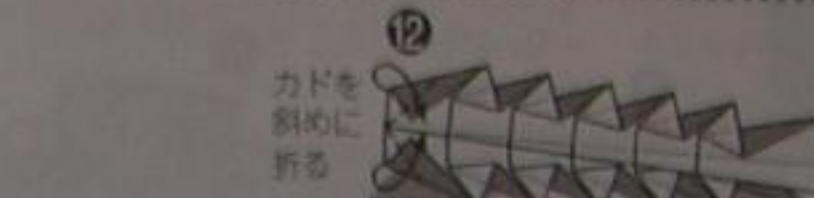
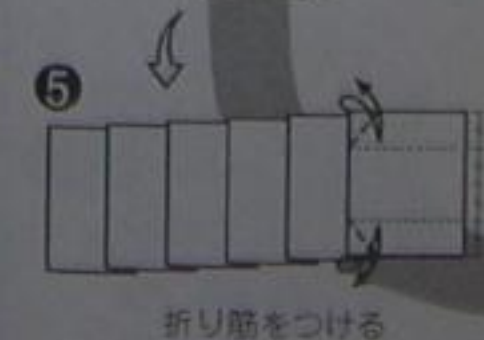
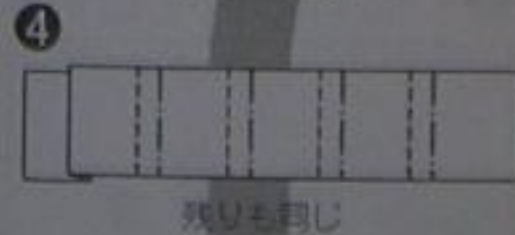
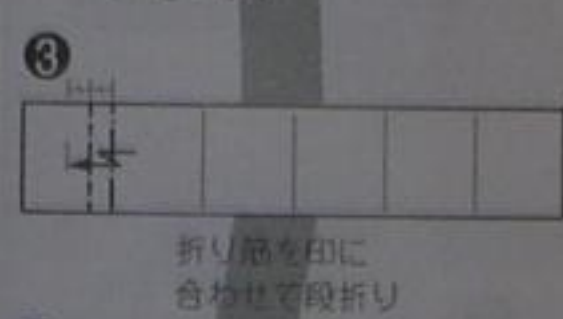
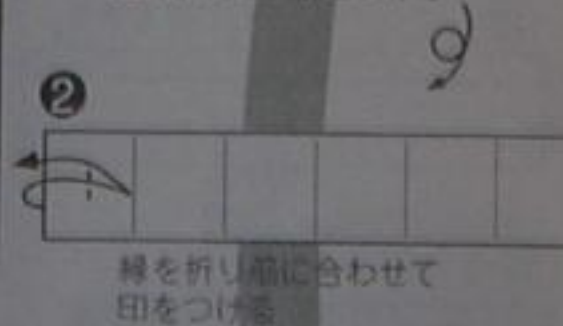
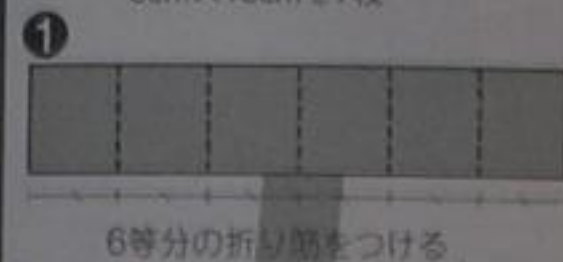
春を告げるかわいらしい花です。作るときは、段折りの部分を一折り毎に丁寧に折り進め、ずらして折るところでたんぽぽらしくまるい形になるよう整えて下さい。



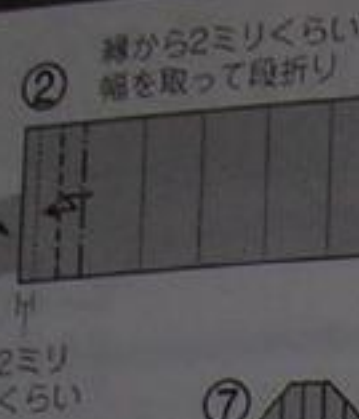
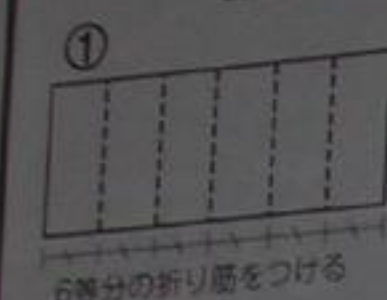
[花] [花]の大きさ
1.5cm×22.5cmを4枚



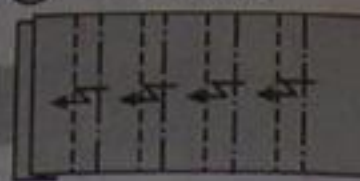
[葉] [葉]の大きさ
4cm×20cmを3枚
3.5cm×13cmを2枚
3cm×15cmを7枚



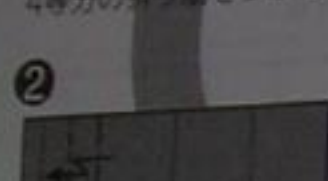
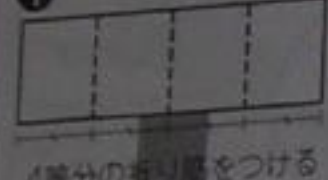
[つぼみ] [つぼみ]の大きさ
2cm×5cmを3枚



③ 残りも同じ



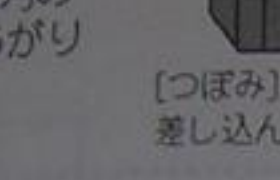
[がく] [がく]の大きさ
1.2cm×4cmを3枚



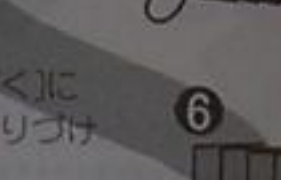
③ 残りも同じ



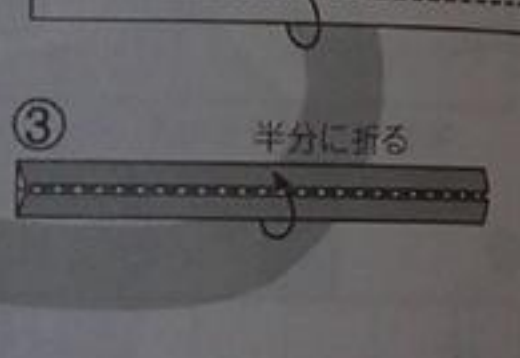
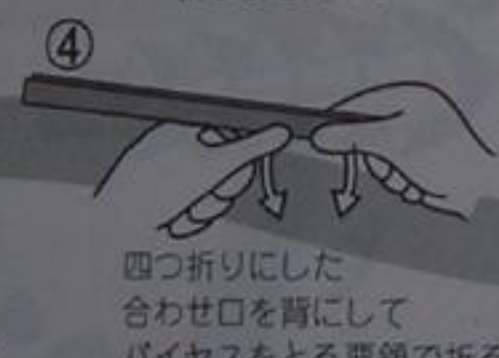
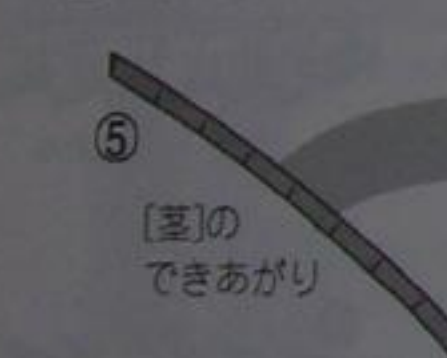
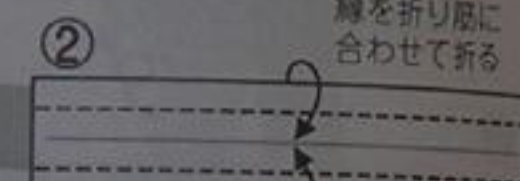
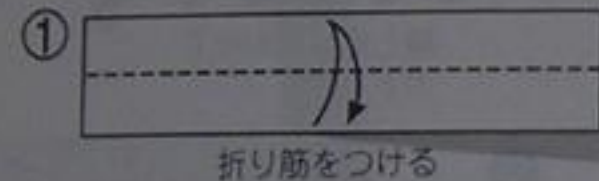
④ 残りも同じ



⑤ 残りも同じ

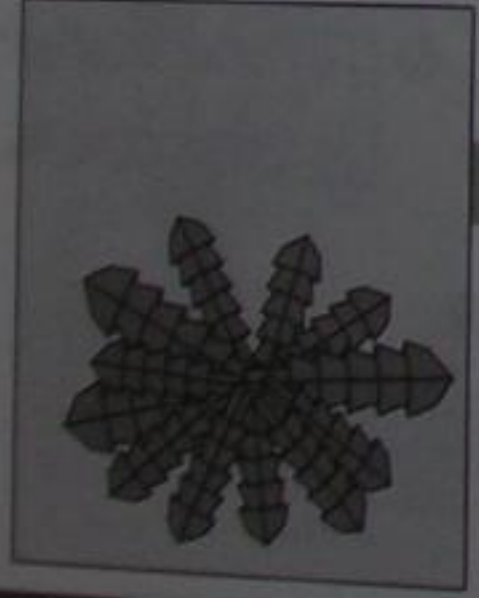


[茎] [茎]の大きさ
1.2cm×12cmを3枚
1.2cm×8cmを3枚
1.2cm×5cmを1枚

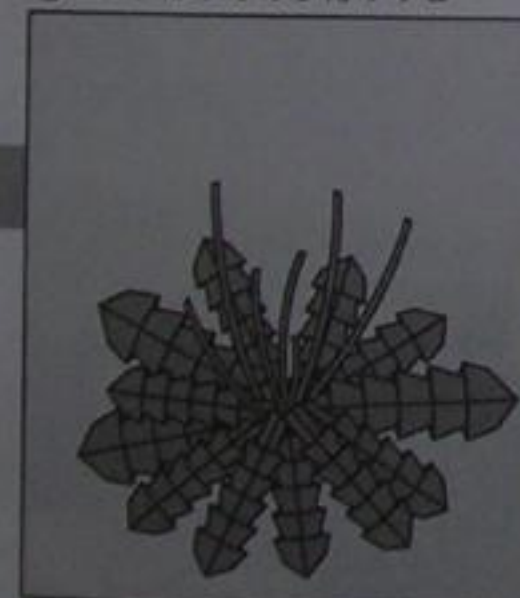


[組み方]

① 図のように葉を配置してのり付けする



② 葉の中心に茎を差し込むようにしてのり付けする



③ 花とつぼみを茎の先ののり付けしてできあがり



Quick Snap

一橋を越えるとそこは新天地だった—
I went across a bridge to find a new world

Kawamura Miyuki
川村みゆき

誕生!「クイック・スナップ」

2000年2月の初めに新しい作品を思い付きました(図1)。これだけならそれほど珍しくない形ですが、これを図2のように使うと1~3本のテープを一定の角度で束ねることができます。ジョイント部はひねって閉じるとカチッと締まるので、この部分を「クイック・スナップ」と名付けました。

もともと白のような、鼓のようなこの形は藤本修三氏・西脇正巳氏の本「創造する折り紙遊びへの招待」に載っていたものです(紙の重なり方は少し違いますが)。彼らはこの鼓型のジョイントを

使って多数の立方体を連結し、見事なダイヤモンドの結晶模型を作りました。その際の結合には橋が使われていました。私は最初、この結晶模型の小さい規模のものを作ろうと思って折り始めました。結晶模型というものはあまりパーツの数が少ないと、なんだか寂しくなってしまうものです。せめて100個ぐらいは欲しいところですが、早々に立方体を作るのが面倒になってしまいました。しかし、模型は作りたい。なんとかもっと簡単に、早く仕上がるようにはできないだろうか?結晶の対称性だけを再現するなら丸のままの立方体でなくても良いはず...で、いろいろやってみた結果、図1、2のような作品が出来上がったのでした。

た。クイック・スナップの引き絞られた中心は直角二等辺三角形が3つ集まった形になっていて、ちょうど立方体の頂点と同じ形になっています。テープ6本、クイック・スナップ4個で正4面体ができます(図3)。長い長いテープを使うと連なる正4面体をどんどん作っていき、その形は全体として、ダイヤモンドの結晶構造になります(写真1)。「意図は発明の母」とはどこかで聞いた台詞ですが、私の場合、意図心が創作の原動力の大きな要因になっていることは確かかなようです(とはは...)。実はクイック・スナップを創作したおかげで、その意図心がさらに増幅されることになってしまうのですが...

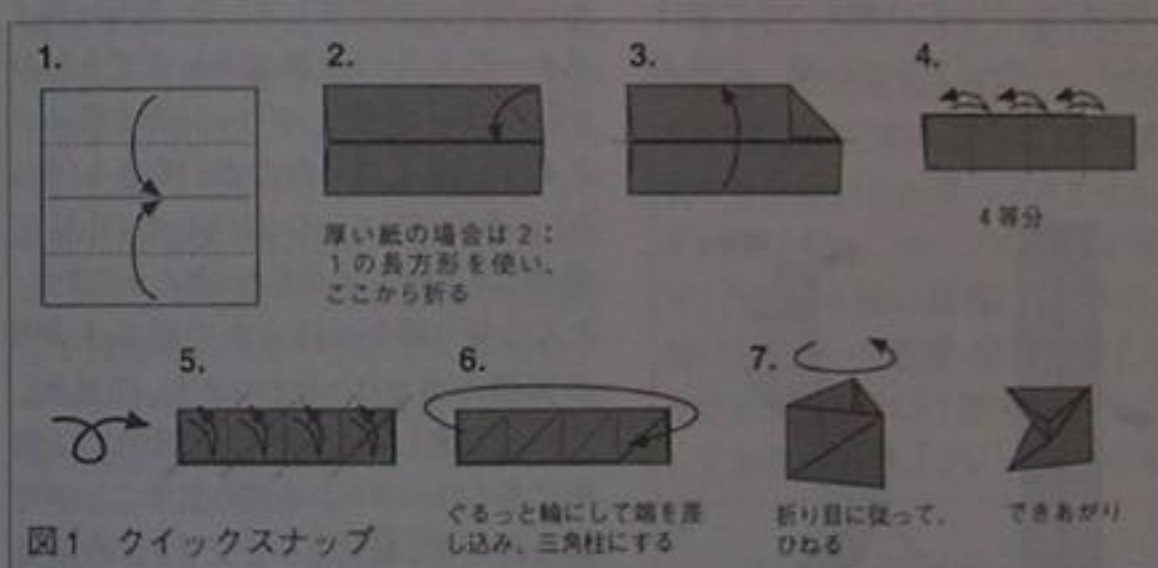


図1 クイックスナップ



写真1

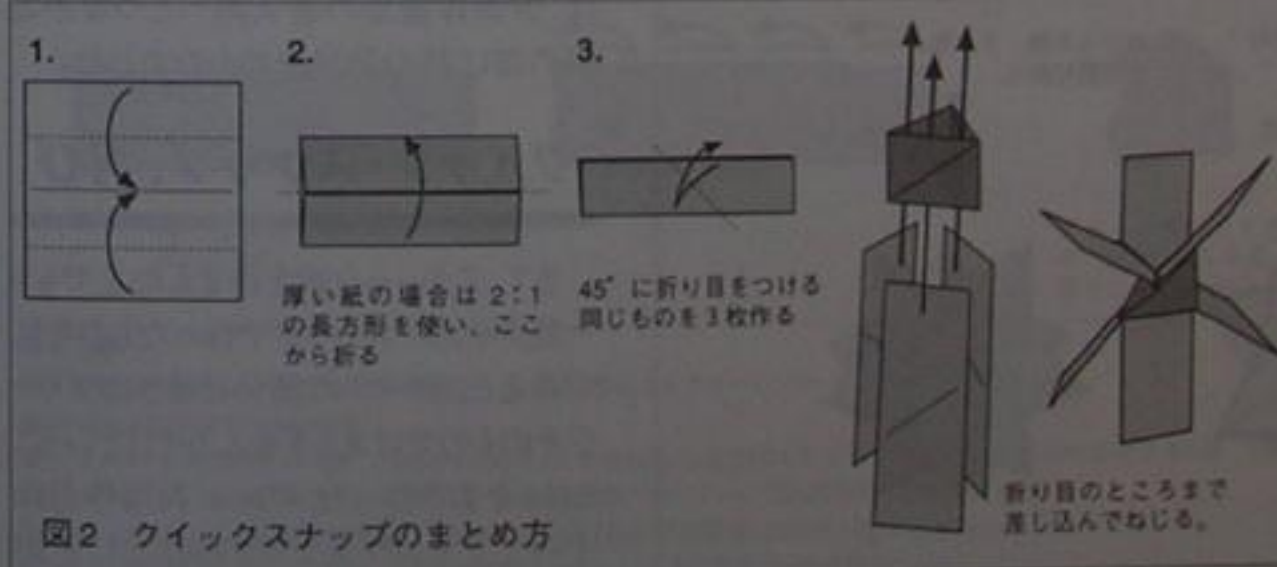


図2 クイックスナップのまとめ方

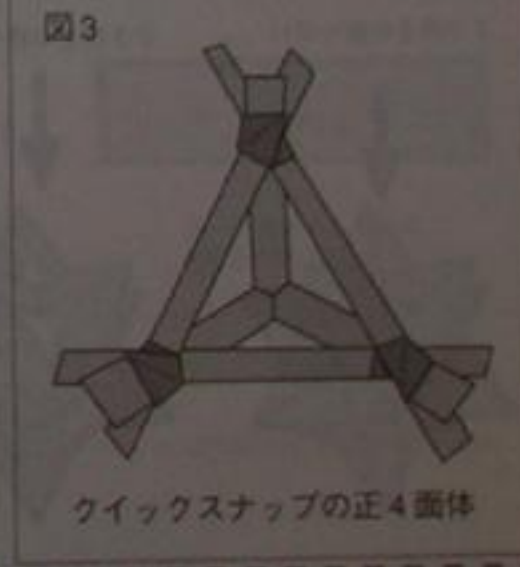


図3 クイックスナップの正4面体

ラング博士 の 役に立つ 幾何学

"Folding Proportions" 「比を折る」

ROBERT J. LANG
翻訳/羽鳥公士郎

第六回 (最終回) 角の等分 Angle Divisions

今回は角の等分を取り上げます。辺の等分と同じように、角の等分にも簡単な方法があるのではないかとと思われるかもしれませんが、実はかなりやっかいです。実際のところ、定規とコンパスを使って任意の角を三等分することは不可能であることが知られています。

● 角の三等分

定規とコンパスを使うと、角の二等分や正方形の作図など、さまざまな作図ができます。それらの多くは紀元前300年ごろにユークリッドが書いた「原論」にすでに記述されています。

しかし、輝かしい古代ギリシャの数学者をも悩ませた問題が三つありました。「円積問題」(与えられた円と同じ面積の正方形を作図する)、「立方倍積問題」(与えられた立方体の二倍の体積の立方体を作図する)、そしてここで取り上げる角の三等分問題です。2200年ものあいだ、多くの数学者がこれらの問題に取り組み、結局これらの問題は不可能であることが証明されたのでした。定規とコンパスで作図できる数はすべて、二次方程式の解として書くことができます。つまり、定規とコンパスを使えば二次方程式が解けるのです。しかし、立方倍積問題と角の三等分問題を解くには、三次方程式を解かなければなりません。そんなわけで、これらの問題は定規とコンパスでは解けないのです。

しかし、折り紙には、定規とコンパスにはできないことができます。それは、二つの点、二つの直線に、それぞれ同時

に載るように折るという操作です。実はこの操作によって三次方程式を解くことができ、角の三等分問題が(立方倍積問題も)解けるのです。

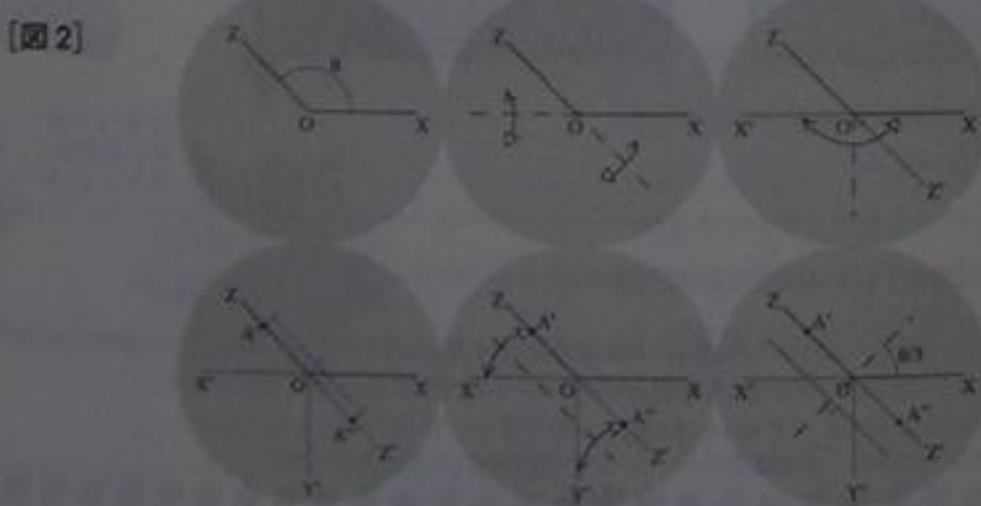
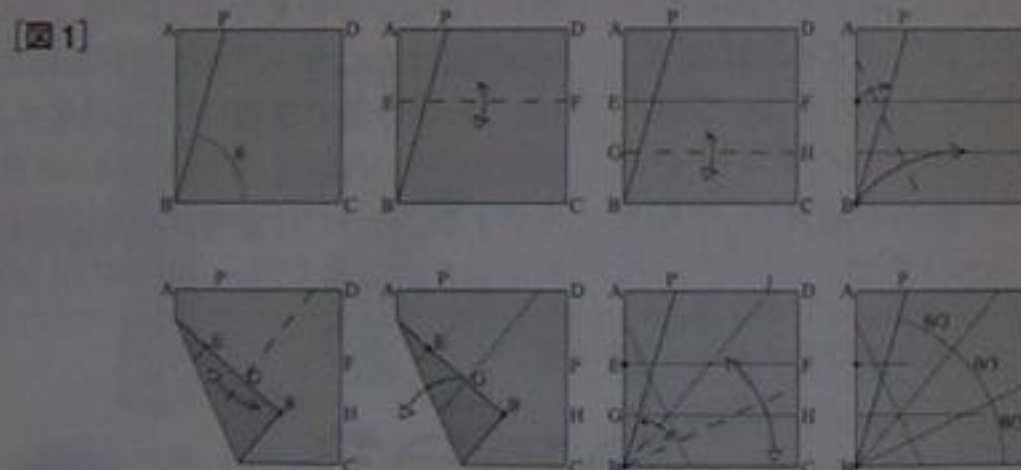
● 正確な分割

折り紙で角の三等分をする方法はいくつかあります。その内の一つは阿部恒

によって考案されたもので、図1のような方法です。鈍角を三等分する方法として、Jacques Justinが考案した方法を紹介し(図2)。

角を二等分するのは簡単ですから、これらを組み合わせることによって、任意の角の6等分、9等分、12等分などが正確にできます。

さらに、Robert Geretschlägerは円周を $2^n \cdot 3^m + 1$ 等分する一般的な方法を示しました。つまり、正3角形、正5角形、正7角形、正13角形等々が折り紙で作図できるのです。これと角の等分を組み合わせると、正20角形までの多角形は、正11角形を除きすべて折れることになりました。



◆ロバート J. ラング=Robert J. Lang アメリカ合衆国オハイオ州生まれ。
6才から折り紙をはじめ、折り紙歴は32年。これまでに6冊の著書とCD-ROMを出版する。
代表作の一つ「Black Forest Cuckoo Clock」はテレビ番組「なるほど・ザ・ワールド」で紹介された。
不切正角一枚の昆虫などを得意とするが、近年は折り紙の数学に興味をよせている。
レーザー装置を製作するSDL社の副社長も勤める。カリフォルニア州ブリザントン在住。

<お知らせ>

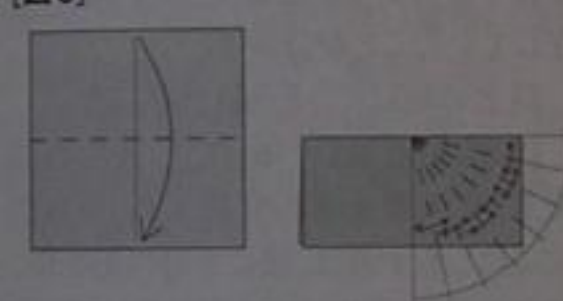
当連載の原文は、OrigamiUSAの機関誌「The Paper」に掲載される予定です。
The English version will be published in the OrigamiUSA magazine "The Paper".



● 近似的な分割

しかし、それらの方法は、余計な折り目もつくし、誤差も出やすく、実用的ではありません。そこで、私が「The Complete Book of Origami」で発表した「サソリ」を例にとって、近似的な方法を考えてみましょう。

「サソリ」を折るには、直角を七等分しなければなりません(図3)。そのために、折



り目が辺とどこで交わるかを調べてみましょう。折り目と辺との交点の位置は、三角関数を使って式1のように計算できます。これを小数で表すと、図4のようになります。

$$[式1] \quad y_i = \frac{1}{2} \left(1 + \tan \frac{90^\circ}{7} i \right)$$



そうしたら、これらの数を、折り方を知っている数に近似します。まず、第1回で紹介した二進法法を使ってみると、表1のようになります。また、第4回で紹介し

た連分数法を使うと表2になります。13/128が誤差がもっとも小さいですが、7回も折らなければなりません。どうやら1/10がいちばんいいようです。そこで、図5のような折り方が見つかります。

● 終わりに

これまでの6回で、比を折るための方法をいくつも紹介してきましたが、どのよう

なときにどの方法を使えばいいのでしょうか。

一般的に、折る回数が少なかったり、余計な折り目が見つからないことが望ましいです。また、誤差の出やすい折り方は避けましょう。いくつかの方法をためしてみてもっともよいと思ったものを選びます。最後の手段があることも忘れないでください。それは「長さを測って印をつける」です。

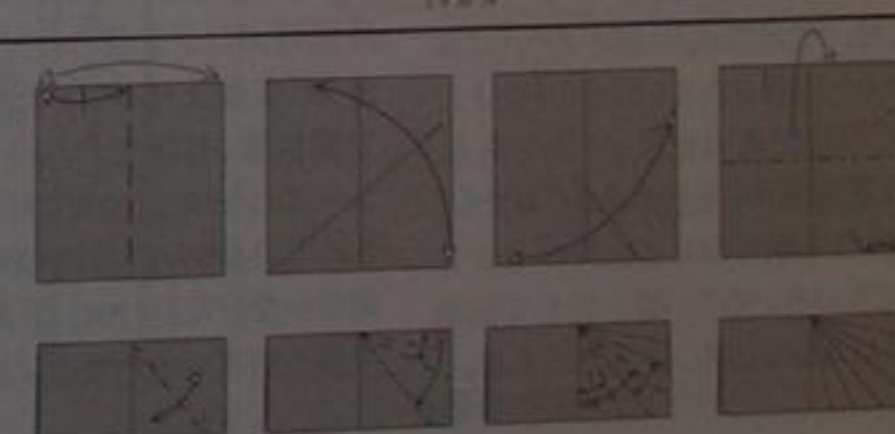
[表1]

i	y _i (十進数)	y _i (二進数)	y _i (概数)	y _i (分数)	誤差
-3	.101	.0001101000	.0001101	13/128	.0003
-2	.259	.0100001001	.01	1/4	.0082
-1	.386	.0110001011	.011	3/8	.0109
1	.614	.1001110101	.101	5/8	.0109
2	.741	.1011110111	.11	3/4	.0092
3	.899	.1110011000	.1110011	115/128	.0003

[表2]

i	y _i (小数)	連分数の 数列	近似分数	y _i (分数)	誤差
-3	.101	0.9, 1.7, 63...	$\frac{1}{10}$	1/10	.0012
-2	.259	0.3, 1.6, 29...	$\frac{1}{4}$	1/4	.0092
-1	.386	0.2, 1.1, 2.4...	$\frac{1}{3}$	1/3	.0013
1	.614	0.1, 1.1, 1.2, 4...	$\frac{2}{3}$	2/3	.0013
2	.741	0.1, 2.1, 6, 29...	$\frac{3}{4}$	3/4	.0092
3	.899	0.1, 8.1, 7, 63...	$\frac{9}{10}$	9/10	.0012

[図5]



A BRIEF HISTORY OF PAPERFOLDING IN JAPAN

Origami in the Edo Era (Part 2)

Okamura Masao

第六回 (最終回)

江戸時代の折り紙Ⅱ

岡村昌夫

一九三四年東京生まれ。都立高校の国語教師を五年前に定年退職。折り紙以外、他の主な趣味は能・歌舞伎を観ること。

舟の類

有名な西鶴『好色一代男』(1682)の「比翼」の「おりすえ」であるが、これは実在したという証拠にはならない。(ちなみに「比翼」と「連理」の折りすえとする向きもあるが、原文の文脈からは、「連理」は造花だったと解釈すべきであろう。)

同じ時期に次々出版された小袖模様の「ひいながた本」に「鶴」「こも僧」「舟」の3種が1700年ごろから種出することは改めて詳述するまでもないので、ここでは「舟」についてのみまとめておきたい。

この時期に描かれている「舟」にはおよそ次の3種類がある。

第1種。「横間図式」に図があり、「にふね(舟)」と題されているもの。舟上に真向二等辺三角形が乗った形である。これは正方形からも折れるが、おそらく長方形の用紙で作っていたのだろう。外国でもいろいろな「船子」として伝承されているものと同一完成形である。

第2種。舟上の荷が、3枚の二等辺三角形で描かれているもの。これは、正方形の用紙で、兜のように折りはじめものだろう。一部を折り込めば第一種と同じ形にもなる。

第3種。「大舟」「御座舟」「朝鮮舟」などの名で伝承されたもの。現代では「宝舟」と呼ぶのが普通のようなが、「だまし舟」を「宝舟」と呼んでいた時期もあるので要注意。外国で「ゴンドラ」「チャイニーズ・ジャンク」などと呼ばれて伝承されているものとはほぼ同形である。「丹前ひいながた」(1704)に「紙ふね」の名で描かれているので、この高度な技術



読む

日本の折り紙史を

日本の

連載・岡村研究Ⅱ

を要する作が、予想以上に古くから存在していたことが分かる。

以上の他に「二そう船」もあった。

『和漢船用集』(1761成立。大坂の船大工、金沢兼光著)の「紙ふね」の項に「ここにしるす者は、紙にて舟の形を折、七夕の笹の葉につけて祭る者也。御座船、二艘舟などの折形あり。」として、3種の折り船の図を載せている。最初の図が七夕に飾る「紙舟」で、他の2種が「御座船」と「二艘舟」だというのであろう。七夕用の舟は装飾的になっているが、前記の第2種のアレンジであろう。兜の鍬形になる部分を外に出して利用したものに見える。「御座船」は第3種、それに「二そう船」であるが、これは「家」や「豚」からの変形であって、現代の一般の「二そう船」のように「風車」や「だまし船」に変化するものとは異なっている。一般の「二そう船」は、ヨーロッパの「DOUBLE BOAT」で、フレーベル式に必ず登場するザブトン折りから変化させる一連のMULTI-FORM(これはR.HARBINの用語)の中の一つと同じ

形なので、明治以後に広まったものと思う。

いわゆる伝承折り紙

一部の折り紙マニアたちに愛好されたとされる、例えば『かや草』や『忠臣蔵』や『森脇家資料』などを除外して、一般に広く伝承されていたと思われる遊戯折り紙の資料を、『古典にみる折り紙』(高木智氏著)、『折るこころ』(龍野市歴史文化資料館図録)等から抜き出してみると次のようになる。『』で囲んだものは、文字と絵の両方で記録されている例、|は絵のみ、[]は文字のみの資料をあらわす。表記は漢字に直した。なお「ひいながた本」と、折り鶴だけの資料(千羽鶴も)と、長方形から作る「箱」だけの資料も除外した。

『けいせい折居鶴』(1717)「鶴」「鷹僧」[舟]
『横間図式』(1734)「鶴」「鷹僧」「荷舟」
『玉手箱』[足付き三方] (折り香包みも)
『女風俗玉鏡』(1732)「鶴」「鷹僧」[舟]
『絵本十寸鏡』(1748)「鶴」「鷹僧」[舟]
『絵本児訓』(〜1735)「鷹僧」[舟]
『西川筆の海』(〜1735)「鶴」[舟]「三方」
『絵本神名帳』(1757)「鶴」[舟]「亀」(糸入れ、香包みも)

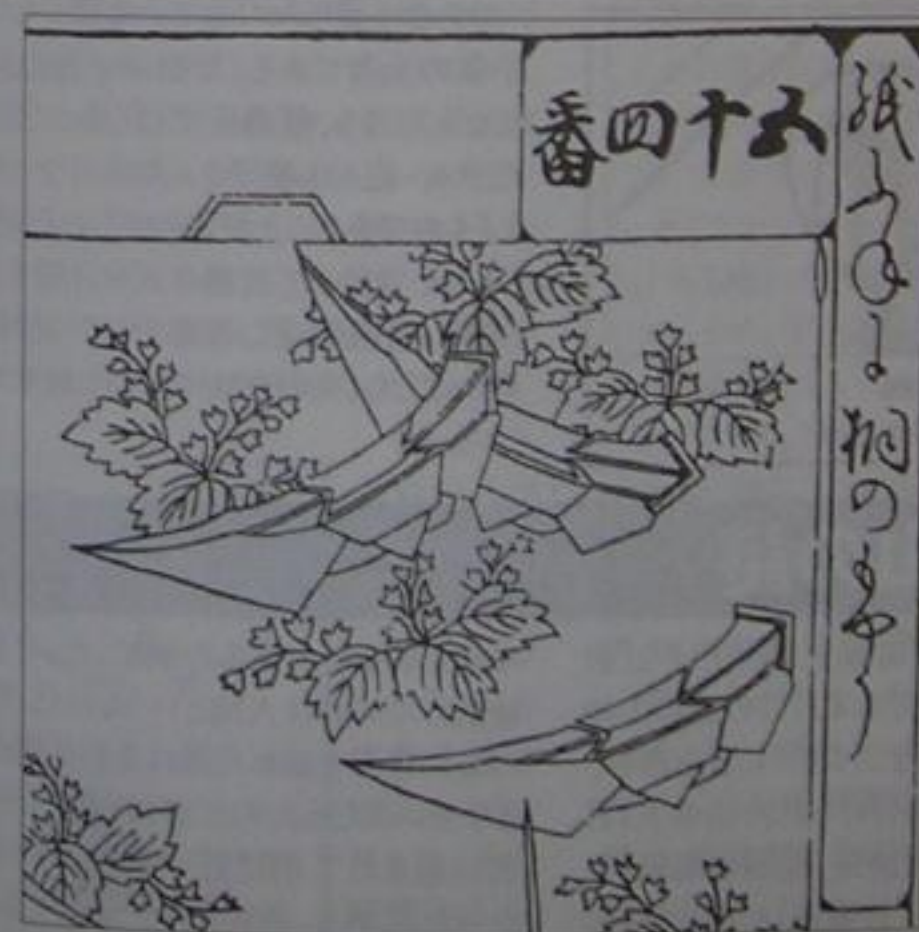
『女芸文三才図会』(1771?)「鶴」[三方]「蟹」[舟]
『倡売往来』(1805)「鶴」「蛙」
『見世物雑誌』(1822の条)「兜」[鶴]
『吾妻婦理』(1831ごろ)「足つき鶴」[蛙]「亀」
『伊呂芝居』(不明)「鶴」[鍬形の兜]
その他『森脇家資料』(高木智氏蔵)の「ふく魚」や、「かや草」記載の「蛙」「蟬」「千羽鶴」[舟]「乗物」[蓮花]「三宝」[箱]「鷹僧」[糸入]「兜」[孔雀]「螳螂」[ふくら雀]「河豚」[狐嫁入]などをここに加えるべきであろう。やや特殊なものもあるが。

伝承は多くない

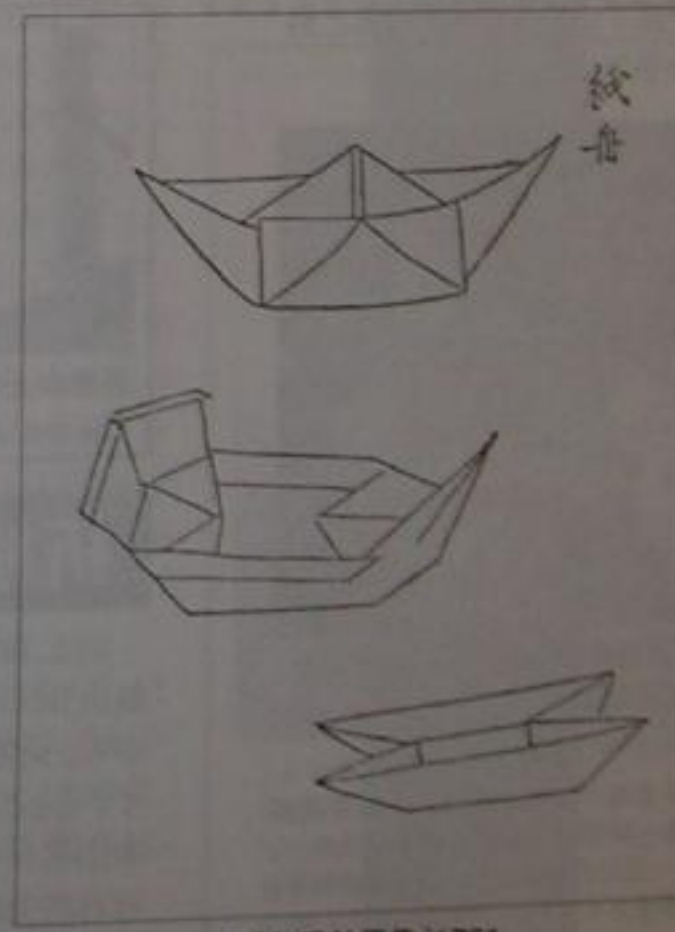
江戸期において、特別な折り紙愛好者の間でもてはやされた「六歌仙」[七福神]その他の多くの人物折り紙などの、切り込みを入れた用紙で折る複雑折り紙は絢爛たる展開を見せ、伝承されずに終わった創作折り紙類も多数あったことが知られている。しかし、主として正方形の用紙を切り込まずに折る類の、いわゆる伝承折り紙は上記の程度で、意外に少なかったようのである。ちなみに、明治21年の『手工科講義

録』(上原六四郎)が外国の折り紙と比較して日本に昔からあるとして挙げているものは、「例えば鶴、亀、船、蛙、鮫、香箱、三方、烏帽子、足袋、福助、福袴、天神の社、提灯、菊皿、郵便配達人、狸、巡査、煙草入れ、花菰蒲等」で、明治の新作と思われる例を加えてもこの程度であった。

明治9年の女子師範学校附属幼稚園開設に当たって参考にしたH. Goldammerの『DER KINDERGARTEN』(第3版、1874、ベルリン)には、「將軍の帽子」[はしけ]「矢」[ボート]「扇子」[筆記用具]「葉巻入れ」[花瓶]「十字架」[鳥]「鏡」[編物の袋]「帆掛船」[ズボン]「長靴」「上着」[低い箱]「高い箱」「點草」[サロン船]「財布」[二そう船]「ふいご」[風車]を掲げ、「よく使われるこのような形は約50種ある。」と明記している(原文ドイツ語)。ほとんどが二重、または三重の座布団折りを基礎にした作品で、切り込みが無い。その種類の多さに驚くとともに、いわゆる不切正方形一枚折りの伝統はヨーロッパのものであって、江戸期の日本で華やかに展開して技術を誇っていた折り紙は、また異質なものであったことを知るのである。



■「丹前ひいながた」1704



■「和漢船用集」1761

前川 淳の

折紙散歩

第六回

完結編

- I answer

all pending questions. -

2月に、長野県南牧村で講習会をしました。実は密かに13年連続です。今年は、なぜか来ていた子供がほとんど男の子でした。



写真は約20年前「折紙散歩」出版当時。
20 years ago.

著者紹介：前川淳。折紙作家・研究者。折紙マシコレクター。「一足先の折紙」は折紙愛好家、折紙タイムズの執筆者もファン。

- (1) The origami crane on the schoolhouse's roof has a sad story about an air crash.
- (2) I ascertained the theory that Mt. Origami looks like a piece of paper folded in half.
- (3) The sculpture in front of Shizuoka City Hall is obviously "inside reverse folded".

謎はすべて解けた？

1年間続いた「折紙散歩」も、今回が完結編である。完結と言っても、次回から構想を新たにしないで、「新・折紙散歩」(仮題)と改題するだけで、連載は続いたというわけだが、とりあえず1年間の区切りをつけることにしたい。

今回は、名ばかりの完結編にふさわし

く、今までの謎をかたちばかりに解明する。今までの謎と言っても、誤植があるのはなぜか、とか、筆者はあちこち出歩いていて、仕事が忙しいというのは本当か、といった疑問ではない。それらの疑問は実に高度なものであるため、答えが難しい。

幼稚園折り鶴の謎

まずは、第2回「車窓からの眺め編」で取り上げた、江戸川区の「杉の子育英幼稚園」にある折鶴のモニュメントの由来についてである。園が休みの日に同所を訪問したため、詳しいことが判らなかったが、今回、「つかぬことを伺います」と、電話で訊ねてみた。

判明した由来は、実に重いものであった。金属製だから重いのではない……と、茶化していいようなことではない。詳しい話を知るひとがいなかったため、伝聞



屋根の上の折り鶴
The crane on the roof

折紙山の謎

次は、前回「青森編」で取り上げた「折紙山」についてである。「この山の山峰がちょうど折紙を二つ折りにした形をしているところから付けられた山名」(『日本山岳ルーツ大辞典』池田末則監修・村石利夫編著 竹書房)との説があることには、前回も触れた。実際にそのよう

に近いものだが、以下のような話であった。

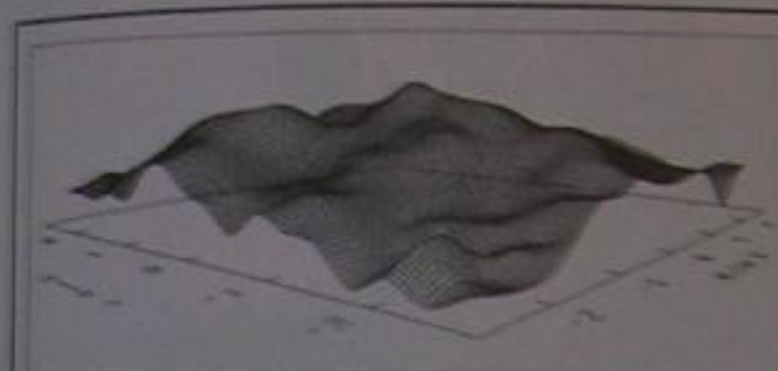
1985年8月12日、世界中の耳目を集めた大きな航空機事故が起きた。日航機123便の御巣鷹山への墜落である。亡くなった520人の乗客・乗員の中に、杉の子育英幼稚園に通っていた子供がいた。その子の思い出と、あのような事故が二度と起きないことへの祈りを込めて、親族から寄贈されたものがあの折鶴であるという。

あらゆる悲しみの中で一番深いものは子供の夭折である。折鶴が平和の象徴になったのも、原爆症で亡くなった広島少女・佐々木禎子さんのエピソードによるものであることが知られている。鶴魂と祈りを背負って折鶴は天を目指す。東西線の葛西駅近く、車窓からの折鶴を見かけたら、命の意味に思いを馳せてほしい。

に見える場所があるのかどうか、それを確認したいのは人情というものだ。昨年の暮に青森を訪れた際はそれを確かめるチャンスだったのだが、残念ながら大雪に阻まれて山に近づくことができなかった。これも、前回書いた通りである。そこで今回は、デジタル化した地図(注)

情報から地形の3次元映像を作成し、様々な角度から仮想的に山を見るというワザにでてみた。

なにやら、毛利衛さんのミッションとい

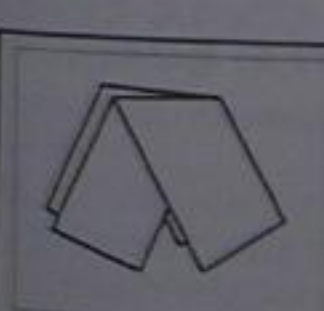


折紙山(青森県青森市 標高921m)の地形
「二つに折った紙」に見えるという説がある。
Landscape of Mt. Origami

巨大中割折りの謎

最後に、紹介する機会がなかった静岡市役所の前にある彫刻について触れ、その秘密を解き明かす。

彫刻は、山口真(注)氏から教えてもらったもので、高さ約5mのステンレス製。「ある晴れた日、風に向かって咲く花」(Seiji Shindou 作? 銘板がかすれてよく読めなかった)と名付けられている。こうした題、わたしは好きである。美術展などで、「作品A」や「無題」といったものを見ると、「作品そのものに語らせたい」ということだろうけれど、ひとはどうせ言葉から逃れられないんだから、なんか題を付けたらと思わずにはいられない。



中割折りが、かぶせ折りか?
Is this "inside reverse fold" or "outside reverse fold"?

じっさい、名前から作品の重大な秘密が明らかになることもある。この作品の場合がまさにそうだった。その秘密とは、この彫刻が「中

割折りが「かぶせ折り」かについてである。折り紙者としては、これが気にならないひとはいないはずだ(ほんとーかよ)。写真を一瞥して「中割折りでしょ」と簡単に判断したひとがいるかもしれないが、それは早計というものである。中割折りとかぶせ折りは、参考図にもあるように、同じことの違う表現だ。完成形を見ただけではどちらとは言えず、それを判定するには、工程やかたちの意味が問題になる。そこでヒントとなるのが名前なのである。「ある晴れた日、風に向かって咲く花」であるから、下部が固定されて、上に向かって成長していったかたちとして見る

ことができる。と、ここまで考え、かたちを注意深く観察したのち、「これは中割折りだ」と初めて言えるのである。これが「ある雨の日、地に向かってもぐる二匹のミミズ」であれば、話は逆になる。で、それがわかったからどうなの? とは聞かないでほしい。ものごとは、それがわかること自体が素晴らしいことなのだ。以上、結論がでた(?)ところで、締めとしよう。

最後に、紹介する機会がなかった静岡市役所の前にある彫刻について触れ、その秘密を解き明かす。

彫刻は、山口真(注)氏から教えてもらったもので、高さ約5mのステンレス製。「ある晴れた日、風に向かって咲く花」(Seiji Shindou 作? 銘板がかすれてよく読めなかった)と名付けられている。こうした題、わたしは好きである。美術展などで、「作品A」や「無題」といったものを見ると、「作品そのものに語らせたい」ということだろうけれど、ひとはどうせ言葉から逃れられないんだから、なんか題を付けたらと思わずにはいられない。

じっさい、名前から作品の重大な秘密が明らかになることもある。この作品の場合がまさにそうだった。その秘密とは、この彫刻が「中

折紙辞典

- 【地図】 ちず 名詞
地形、道路、建物、植生などの情報を記した図。折紙と地図は、次の二点で関係が深い。
(1)折紙の技法による地図の折り畳み方として、三浦公亮氏考案による「ミヅウ折り」がある。
(2)「折紙山(折山)」という言葉は国語辞典には載っていないが、「折紙の工程図」を意味する折り紙用語と、「折り紙の山」を意味する地形用語では、一般的に使われている。ミヅウ折りの折り方を示した図は「折紙山の折り図」であり、その図を地図と同じように折り畳んだものは、「折紙山の折り図の折り図」と呼べる。
- 【山口真】 やまぐちまこと 人名
折紙作家。ギャラリー「折紙」の代表。日本折紙学会事務局長。日本折紙協会理事。主な作品は以下の通り。
(1)「雲」が数えきれない。
(2)「折紙用紙」に付属するほとんどの図が氏の作品である。
(3)「やまぐち」の真名を本人が秘蔵気に入っている。
(4)思いつきで行動するが、なんとか実現させてしまう。
(5)すぐ怒るが、すぐに忘れる。
(6)デンマーク語が話せる。
(7)高所恐怖症である。
(8)名前を紙に書くと、左右が折り畳み対称である。
(9)某ホテルの裏の壁の記録を持っている。



「ある晴れた日、風に向かって咲く花」
Seiji Shindou
"Some Sunny Day, Bloom Against Wind" by Seiji Shindou
中割折りである。

ORIGAMI PHOTO GALLERY

■色紙百花は春らしい題材・蒲公英(タンポポ)。道傍にたくましく咲いている生命感にあふれた作品です。

■びっくり箱は五角形の箱。3月25日発売の新刊にも5角箱が掲載されているそうなので、そちらと合わせてバリエーションを増やしてみたいかなでしょうか?

■左ページの昆虫作品2点は、発売間近のおりがみはうすガレージブック、「折り紙図鑑・昆虫」から抜粋。1993年~1994年にかけて次々に昆虫作品が生まれた「昆虫大戦争」。その集大成ともいえる本書の第1巻には、川畑、西川両氏の作品が合計17点収録されています。

■幾何造形「クイック・スナップ」は、とても単純な構造をうまく利用しています。特集記事(P11~13)ではその広大な入り口の世界が紹介されています。誰もが手軽に親しめるユニット折り紙作品のひとつになるかもしれません。



「蒲公英(タンポポ)」作:田中具子(P.8)

Dandelion: Tanaka Tomoko (P.8)

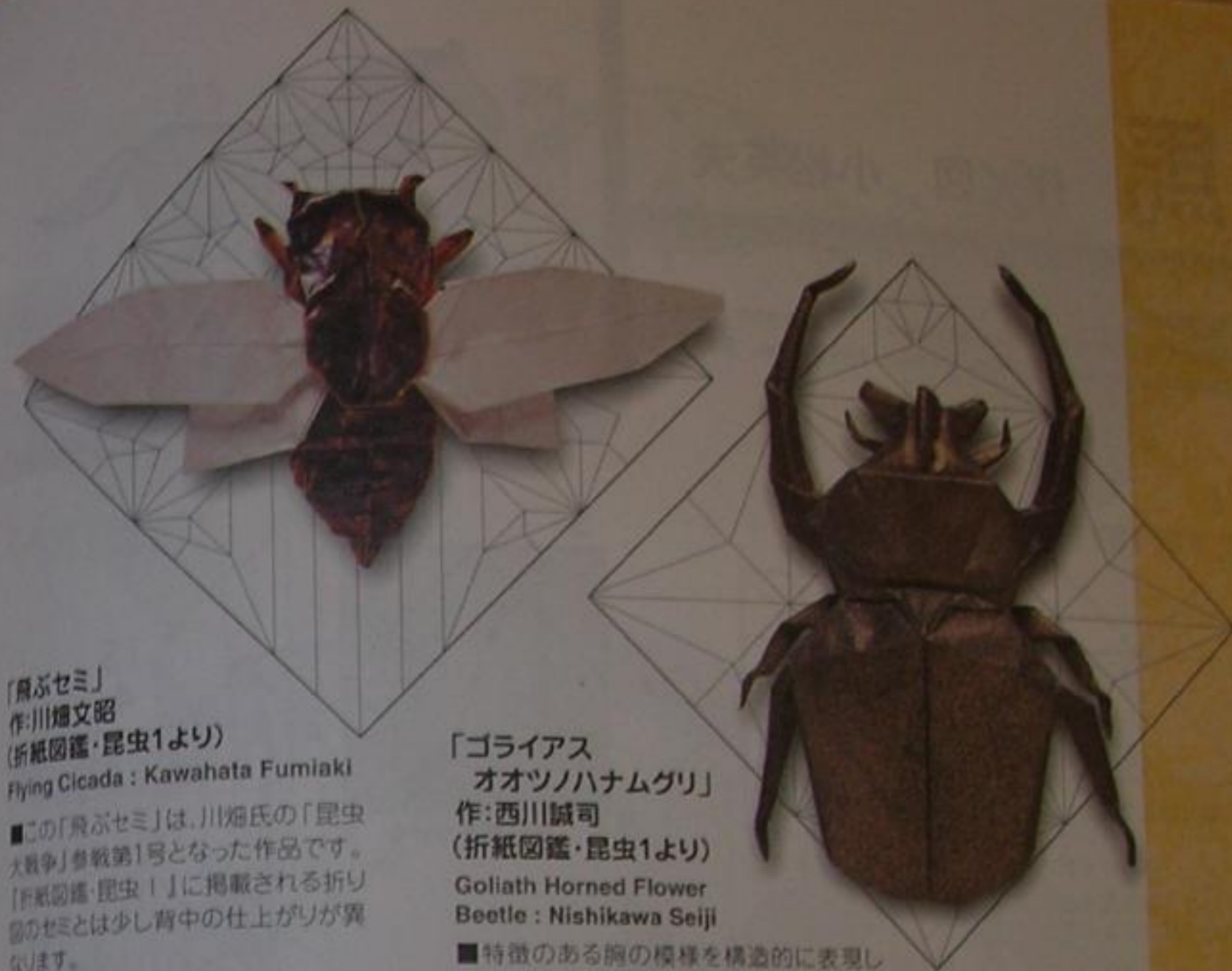
■生命力あふれる緑と春の日差しを思わせる黄色の対比がとてもきれいです。

「五角箱(沈星・バブル)」

作:布施知子(P.4)

Pentagon Box
(Sinking Star / Bubble)
: Fuse Tomoko (P.4)

■もこもことした立体感がどこことなくユーモラスです。シンプルな分、洗練された美しさがあります。



「飛ぶセミ」
作:川畑文昭
(折紙図鑑・昆虫1より)

Flying Cicada: Kawahata Fumiaki

■この「飛ぶセミ」は、川畑氏の「昆虫大戦争」参戦第1号となった作品です。「折紙図鑑・昆虫1」に掲載される折り紙のセミとは少し背中の上の仕上がり異なります。

「ゴライアス
オオツノハナムグリ」

作:西川誠司
(折紙図鑑・昆虫1より)

Goliath Horned Flower
Beetle: Nishikawa Seiji

■特徴のある胸の模様を構造的に表現しているあたりは、西川氏らしいこだわりです。



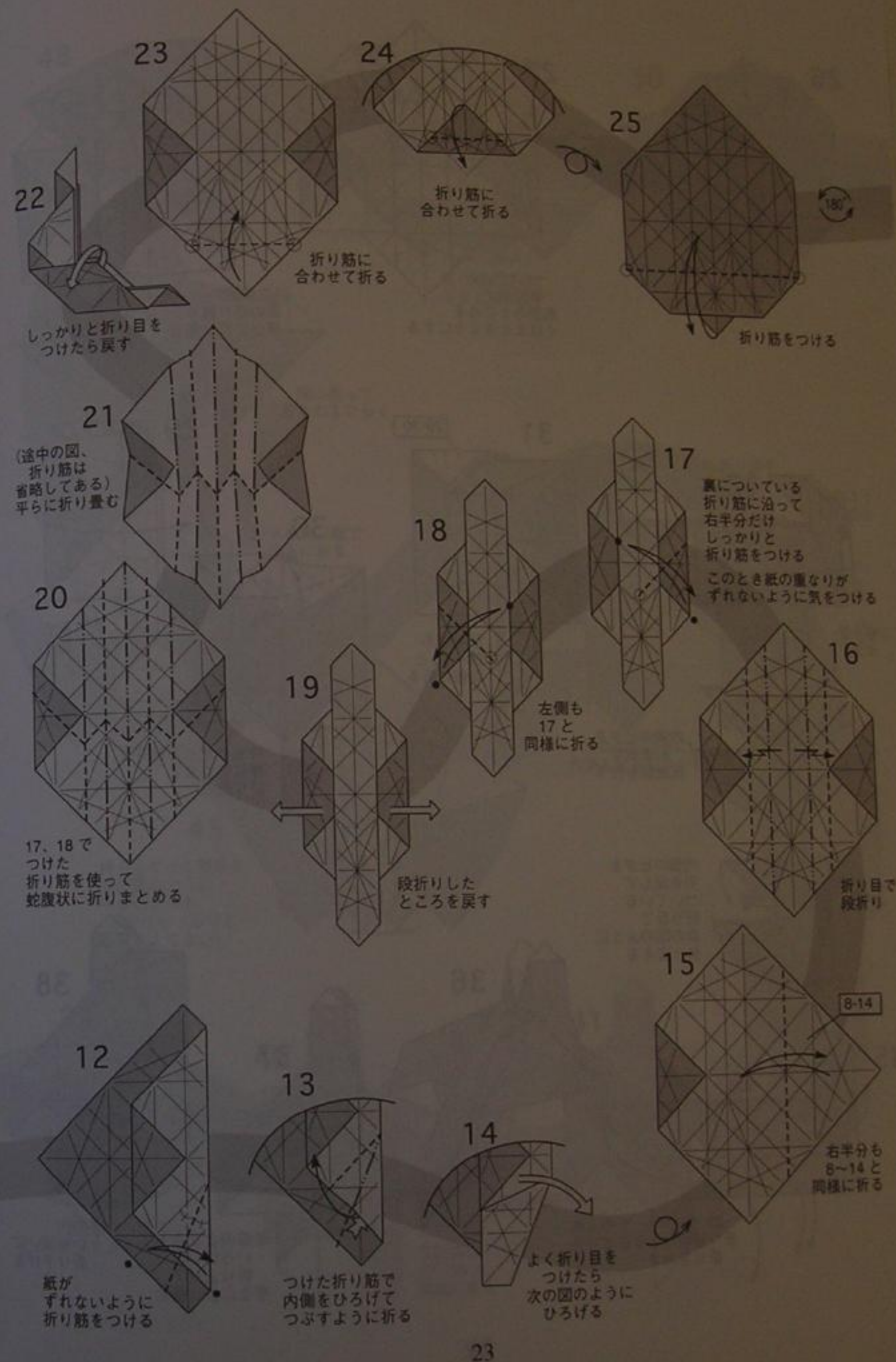
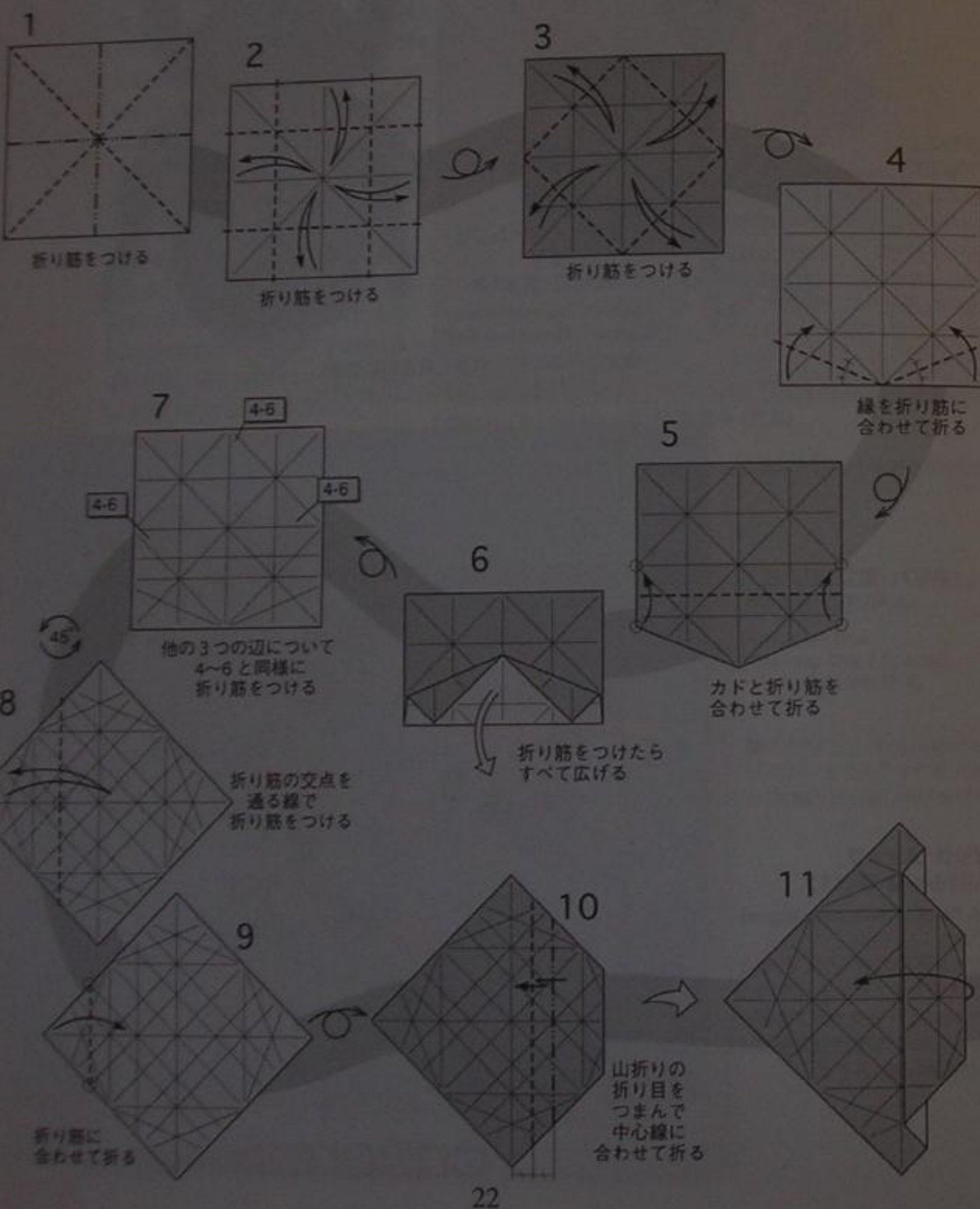
「クイック・スナップ」
作:川村みゆき(P.11)

Quick Snap: Kawamura Miyuki
(P.11)

■ブリッジ部分の折りかえで、様々な表情を見せてくれます。ブリッジのビビッドカラーとスナップの黒とのコントラストが華やかな作品です。今後の展開も楽しみです。

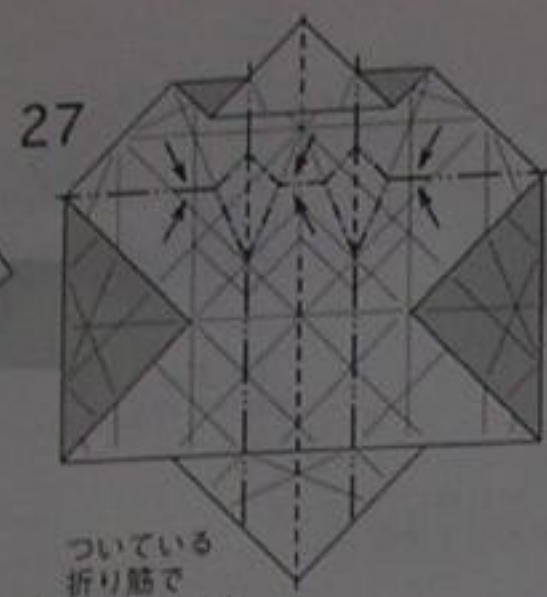
馬 作/図 小松英夫

"HORSE"
model designed by Komatsu Hideo May 1999
diagrams produced by K.H. Nov. 1999 - Jan. 2000

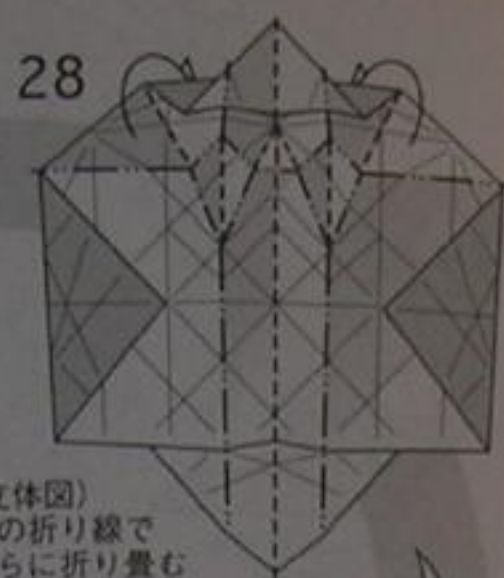




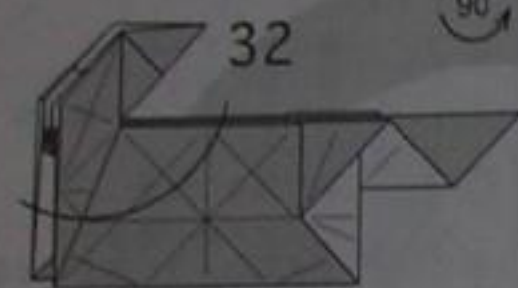
段折り



ついている
折り筋で
風型のところを
くぼませるようにする



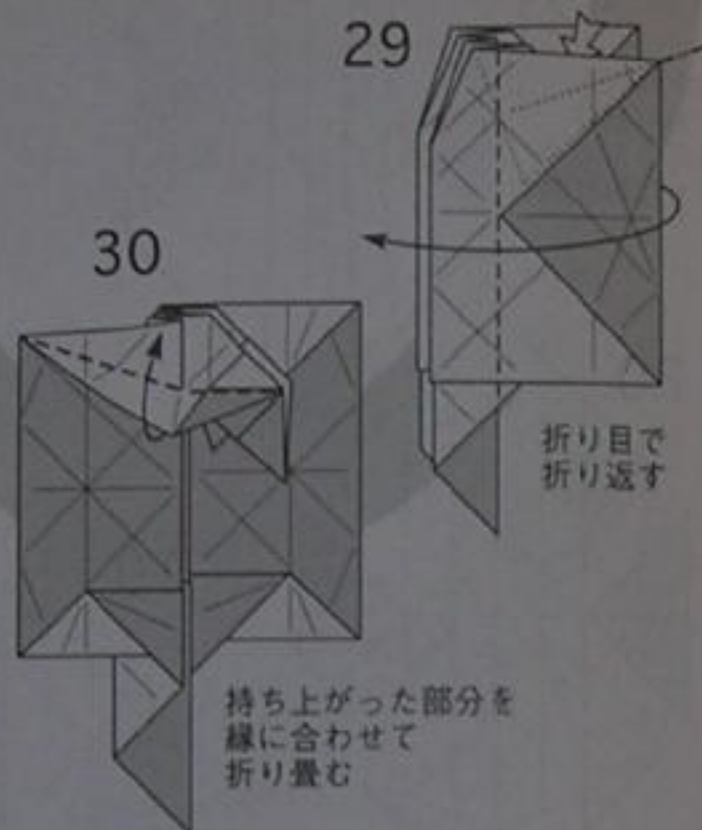
(立体図)
図の折り線で
平らに折り畳む



90°



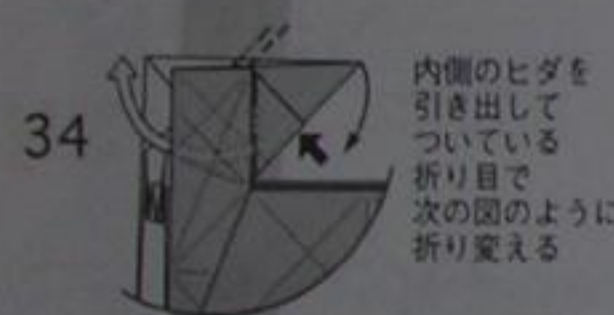
反対側も
29-30と
同様に折る



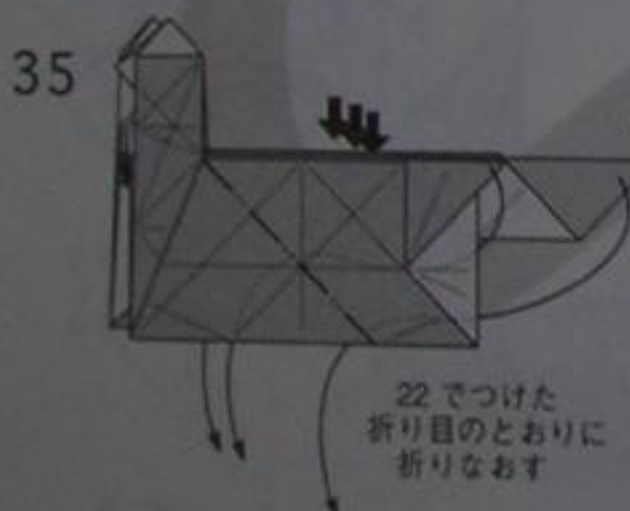
折り目で
折り返す



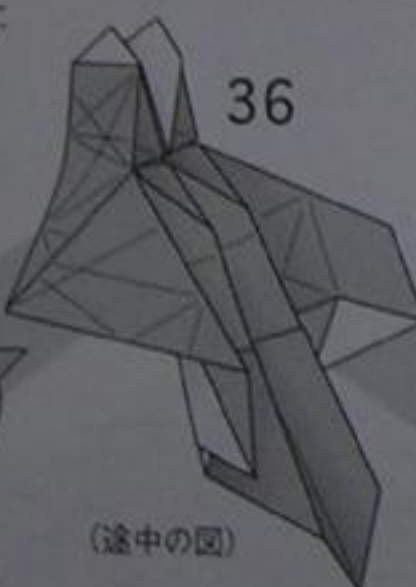
内側のヒダを
引き出す
反対側も行



内側のヒダを
引き出して
ついている
折り筋で
次の図のよう
に折り変える



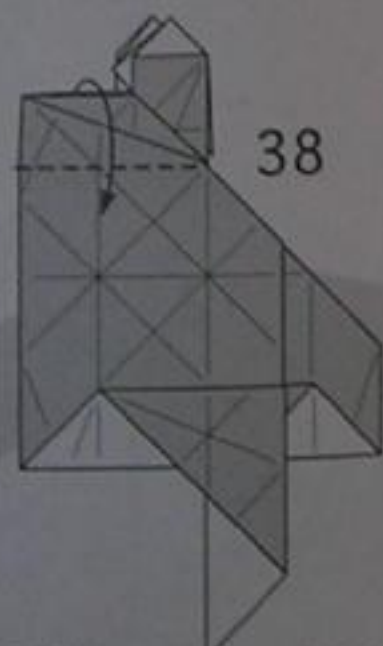
22 でつけた
折り目のとお
りに折る



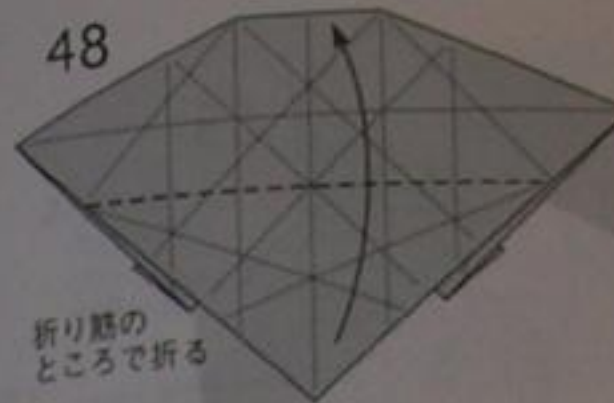
(途中の図)



谷線のところを
いっぱい
折り上げて
平らに折り畳む



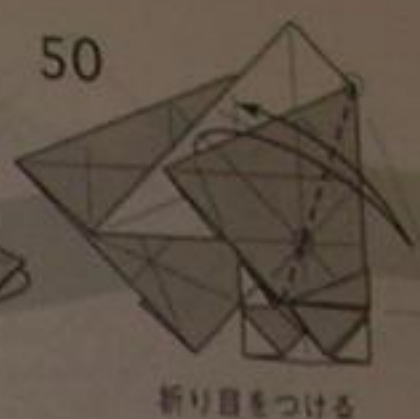
いっぱい
折り下げる



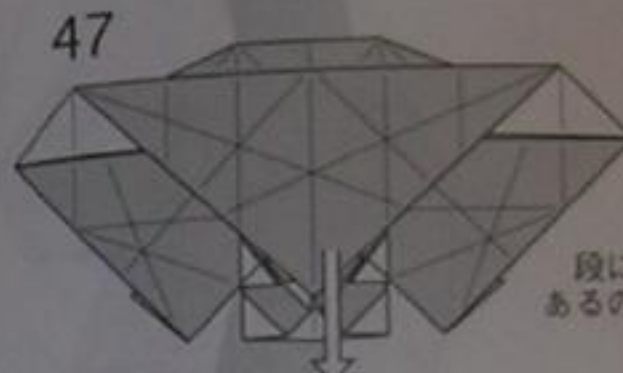
折り筋の
ところで折る



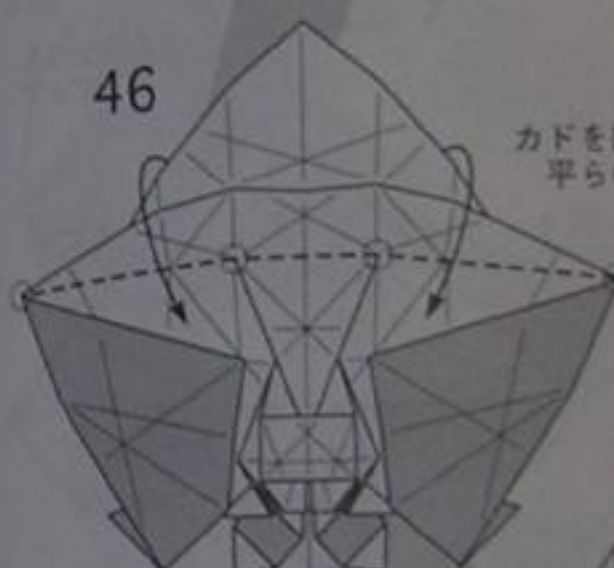
折り筋に沿って
カドを折り返す



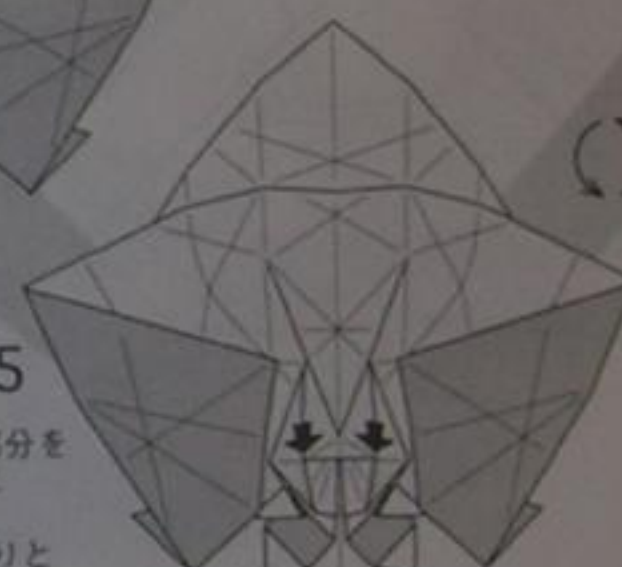
折り目をつける



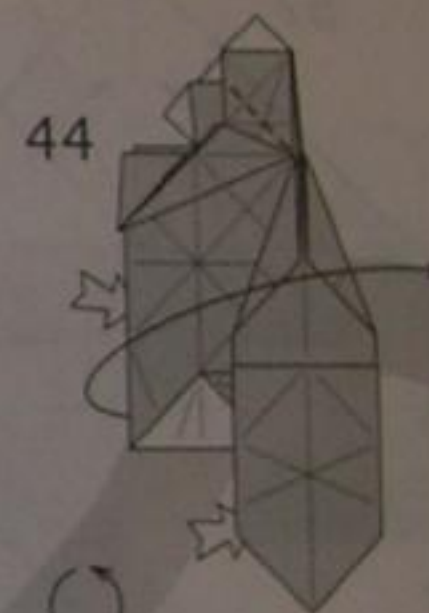
段に折って
あるのをひらく



カドを結ぶ線
で平らに折る



持ち上がった部分
を 次の図の
ように 平ら
につぶす
(あまりしっ
かりと折ら
なくてよい)



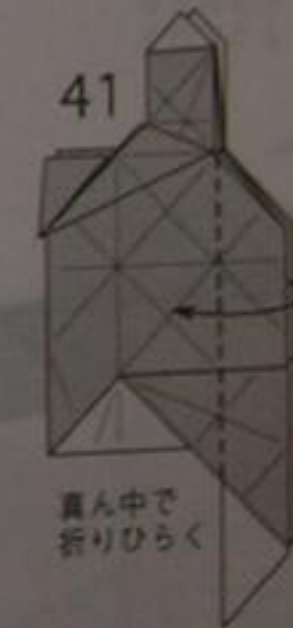
次の図のよう
に 内側を大
きくひらく



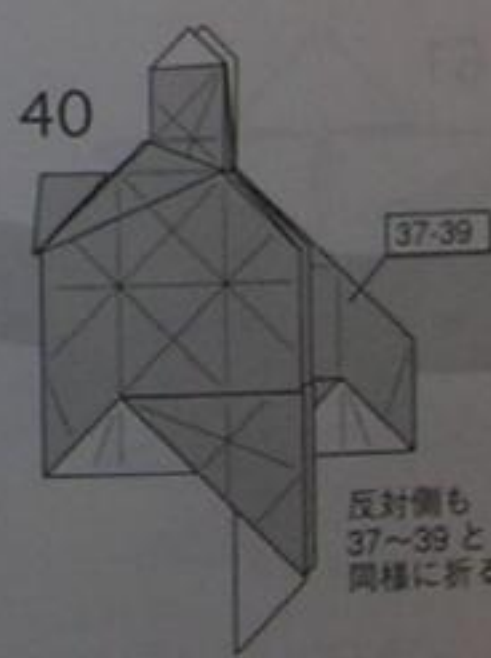
番号順に
折る



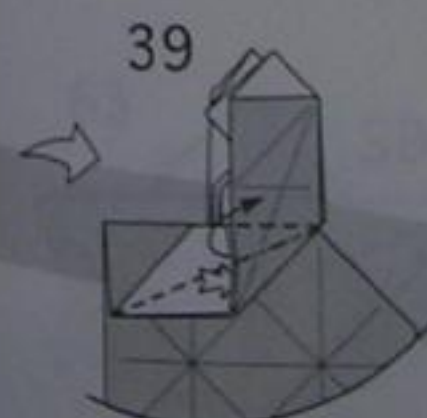
線を折り筋に
合わせて折る



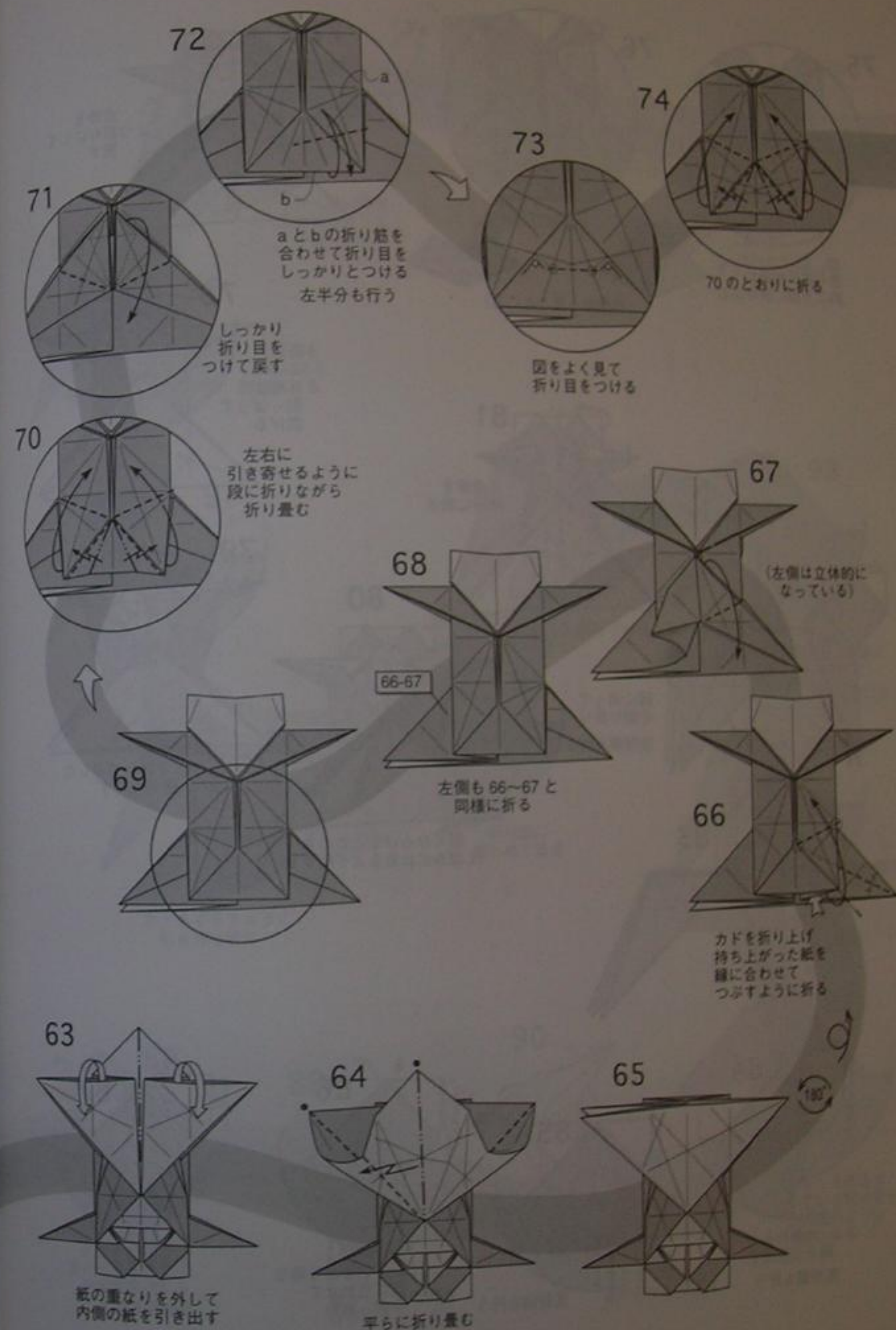
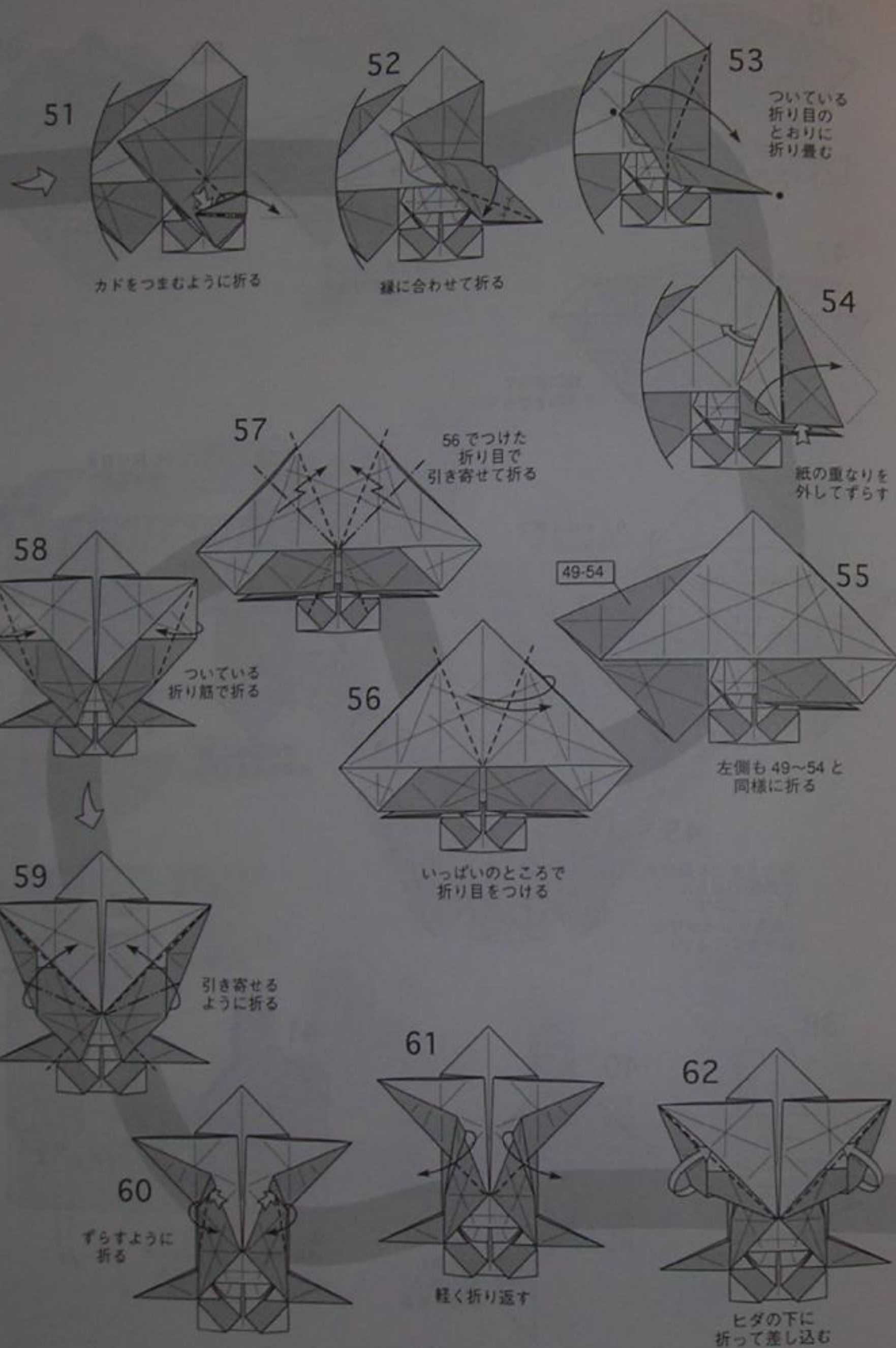
真ん中で
折りひらく

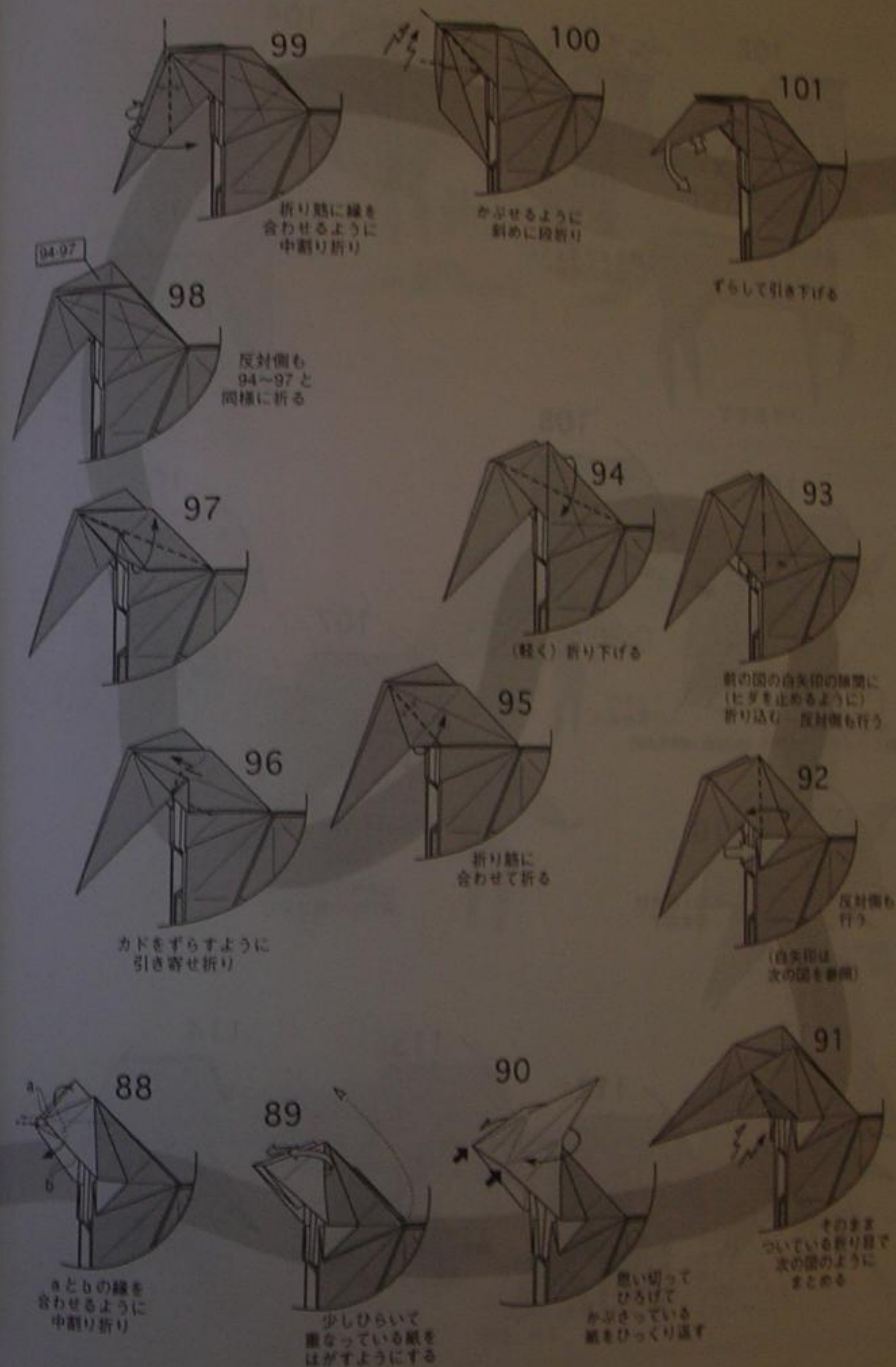
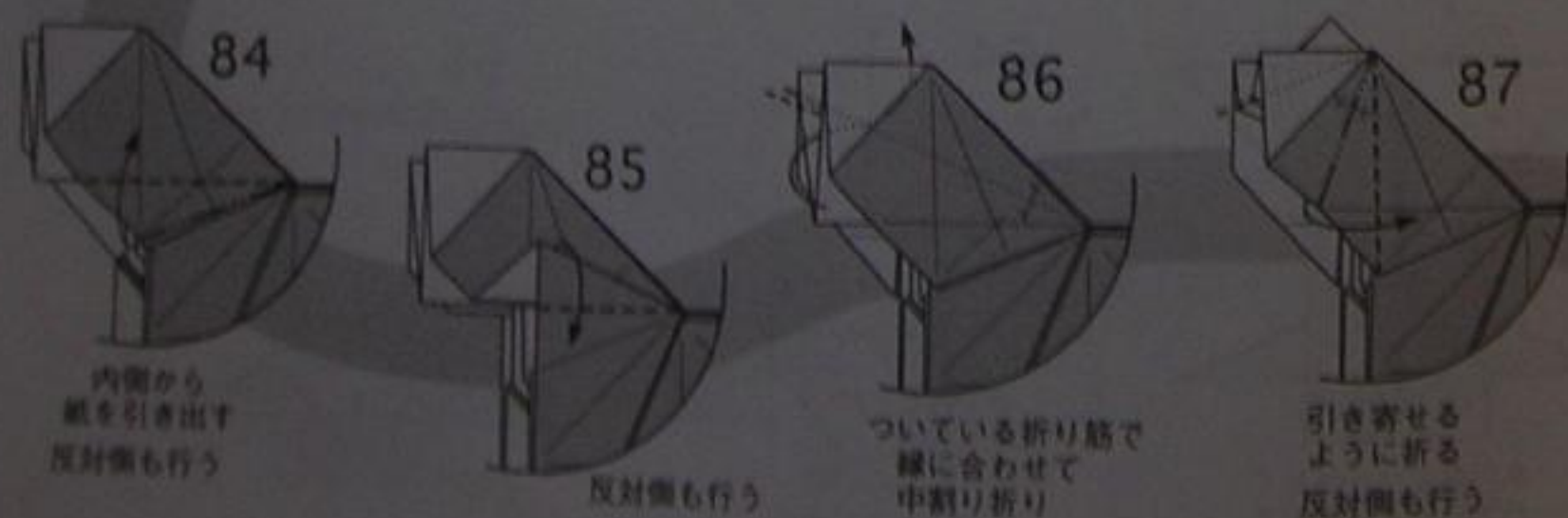
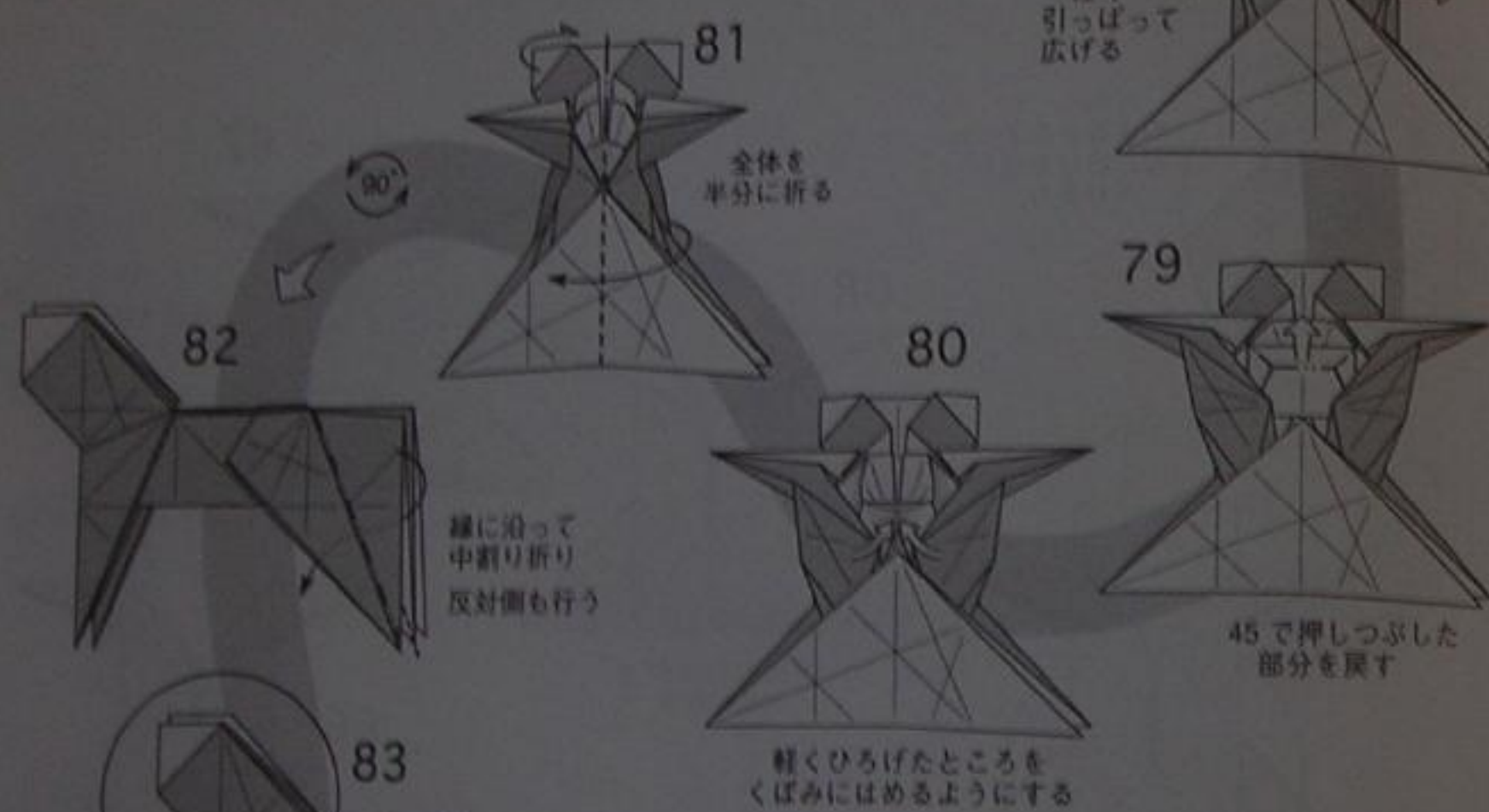
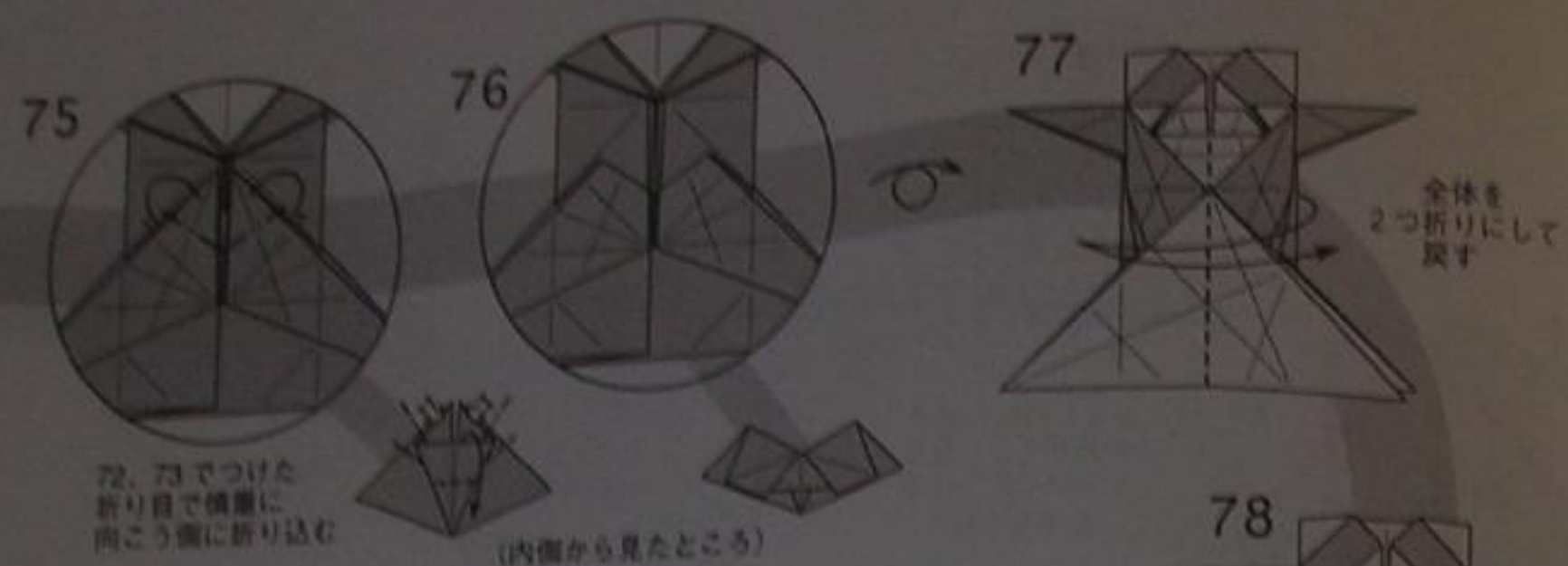


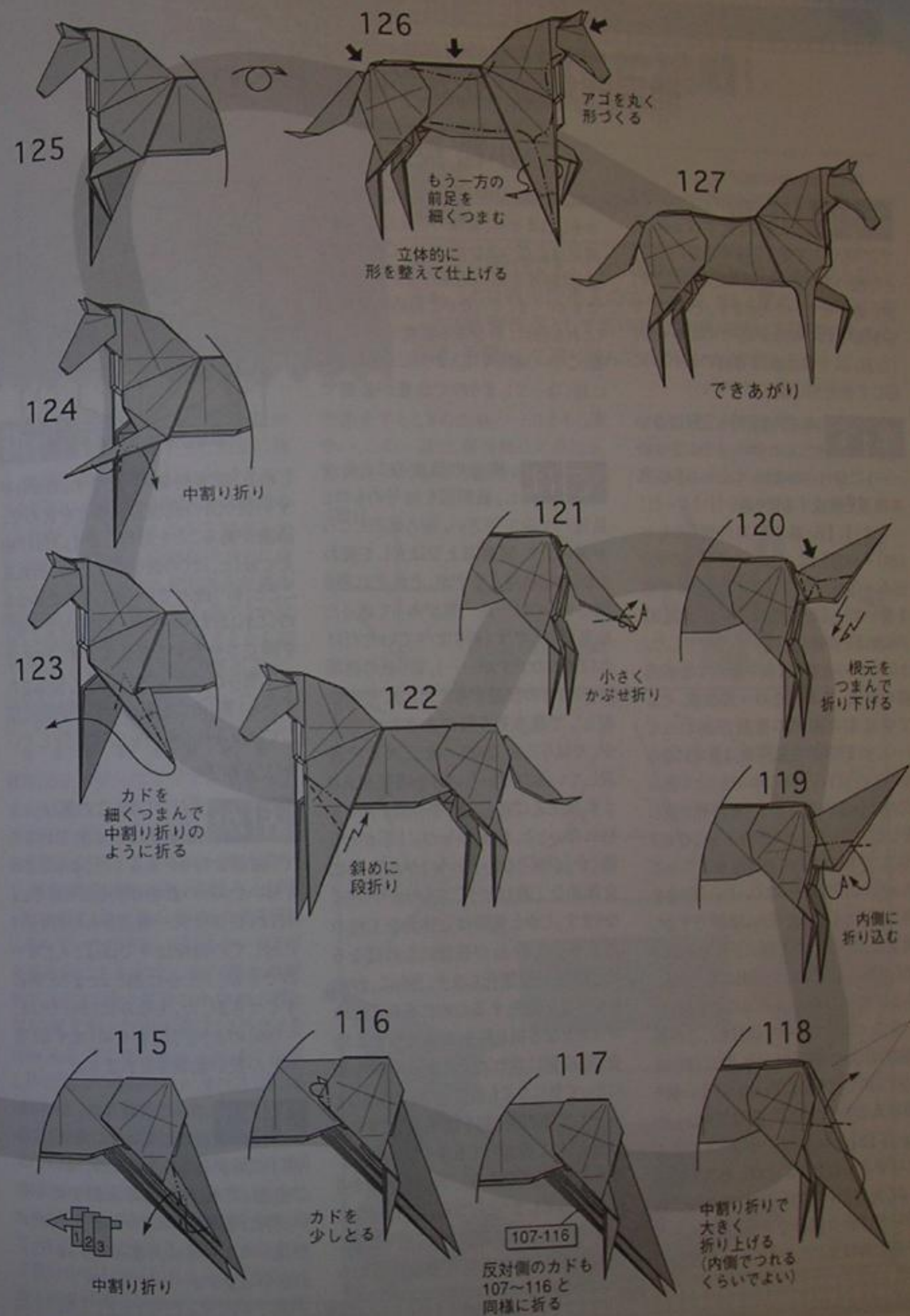
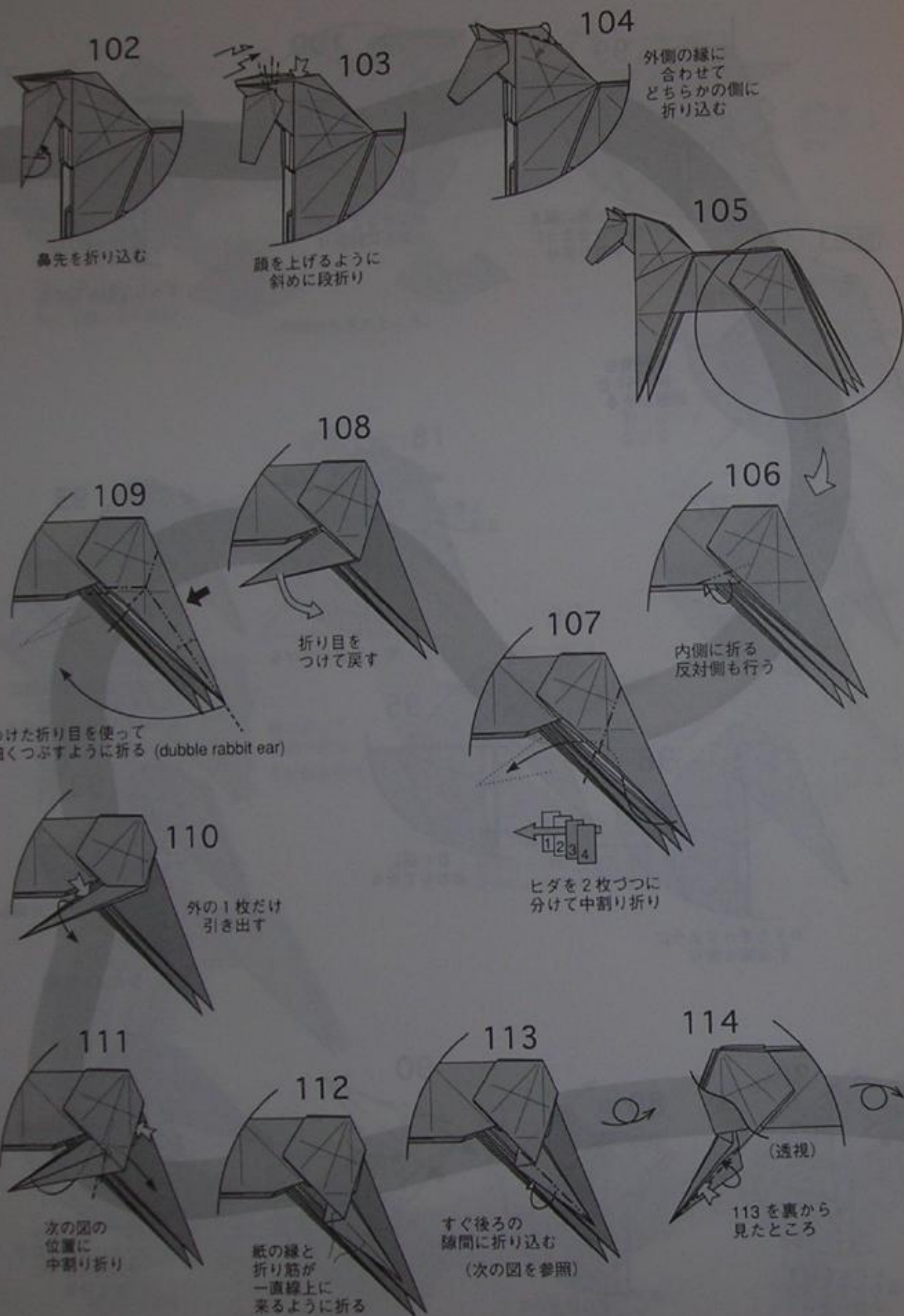
反対側も
37-39と
同様に折る



内側をひろ
げて ずらす
ように折る







Supplementary comment, supererogatory coze
補足的解説・蛇足のおしゃべり

Komatsu Hideo
小松 英夫

本来ならば折り図のページであるはずを、文字ばかりにしてどうもすみません。58号で書いたことと今回の折り図の補足したいなことを、少し書かせていただきます。それにしても今期中に折り図が出てよかった！(なお、以下の文章は各自のレベルに応じて部分的に読んで下さい)

まずは、折り図/折り工程について。これは大まかに3つのパートに分けられます。すなわち【A・基本構造を構成する折り線を付ける】(1)~(28)【B・基本形状の折り出し】(29)~(93)【C・完成形への折り込み】(94)~(127)です。58号の原稿を書いている時点では、このうちの【B】の6割ほどが確定しているだけでした。よりスマートな折り工程を求めて悪戦苦闘の結果、基本構造の一部改変、そして完成形の細部の推敲が加わって……、つまりあの表紙写真は参考にならないという(?)。そんな中でもっとも悩んだのは【A】の工程です(実際描き直しをしました)。なるべく必要十分となるようにしてありますが、折り筋がごちゃごちゃとしていて分かりにくいという印象を持たれるかもしれません。単調ですが、重要な工程なので丁寧に折り筋をつけてください。図に示した以外にも、目安となるポイントがたくさんあるので正確に！

さて、(20)と(27)が(35)も、この折り図の最大の難関でしょう。特に(27)は欠けていて折り加えないといけない折り筋があるので図をよく見て下さい。かわって【B】からは折るのが楽しい(苦あれば楽あり)！(50)は、とばした方がリズムよく折れます。(70)~(76)はこの作品のいわば弱点部分ですが、(73)も小さい紙の時は気にしないでいいでしょう。

(78)~(80)は使う紙によっては難しいかもしれませんが、最後の仕上げですが、前足はただつまむだけにしています。はくは58号表紙の処理の方が好みなのですが、うまくやらないと短めの前足が(これも弱点、形がある程度リアルになるとこういう細かいことが気になる)、さらに短くなってしまいますので注意が必要です。

では、構造の改変のことを少し。展開図を58号のものと見比べてみて下さい。後ろ足のところが違います。展開図上では大して変わらないように見えますが、それぞれ折り図にするのに一長一短があって迷った結果のことです(折り比べていただければ解るのですが……)。折り紙の再現性、折り方の伝達を考えたとき、その手段として現在折り図があるわけですが、やはり三次元のものを二次元で表現しているのいろいろな問題があります。たとえば初心者が折り図を見ても折れないとき、理由の一つに「手がどう動くか」が解らないというのがあり、特に立体的な工程はどうしてもわかりづらくなります。しかし実際は立体的な工程の方が多くて、作品が複雑になればなるほど問題が深刻化します。さらに、わかりやすさを優先するためにあらかじめガイドとなる折り筋を入れたりする場合、完成形に現れたその折り筋が作者にとって気になるものだったらどうでしょう。そしてその折り筋を消すようにすると立体的な工程がとて多くなり(描く手間もおそろしく増える)、折り図が分かりにくくなってしまおうとしたら、このようなことが実際あるかは別にして、折り工程、折り図は折り紙を再現可能な作品たらしめる(現実的な)手段です。わかりやすい折り図の表現方法などを含めて、議論があることを期待します。(付け加えておくと、はくの折り図は正確に折れることと、折り進んでいく楽しさみたいなものを両立させたいと考えてます。作品自体は明らかにマニアに向けて発信されている(笑)のにも関わらず、折り図に関してはなるべく間口を広げようとしている……うーん。)



一値分子が少ないのが特徴

話 が とびました。この馬は、4本足がきれいにできているので、頭部を折りかえることによってこれからいくつかの動物が折り出せるでしょう。はく自身は同一構造からの折り分けに対しての興味は今ではほとんどないのですが、犬とかは割とまとまった形にすぐできました。ちなみに(56)で(58)~(59)のような引き寄せ折りをする後ろ足の長い動物も折れます。

ずい ぶんと余計なおしゃべりをしてしまいましたが、この「馬」に関するあらゆることについてのご感想、ご批判を是非お聞かせ下さい。特に「折り図のここがわかりづらかった」というご意見は大歓迎です。よろしくお願ひします。

ずい ぶんと余計なおしゃべりをしてしまいましたが、この「馬」に関するあらゆることについてのご感想、ご批判を是非お聞かせ下さい。特に「折り図のここがわかりづらかった」というご意見は大歓迎です。よろしくお願ひします。



西川 誠司さんの

展開図折りに挑戦!

Crease Pattern Challenge

第6回

龍

Eastern Dragon

Nishikawa Seiji

西川 誠司

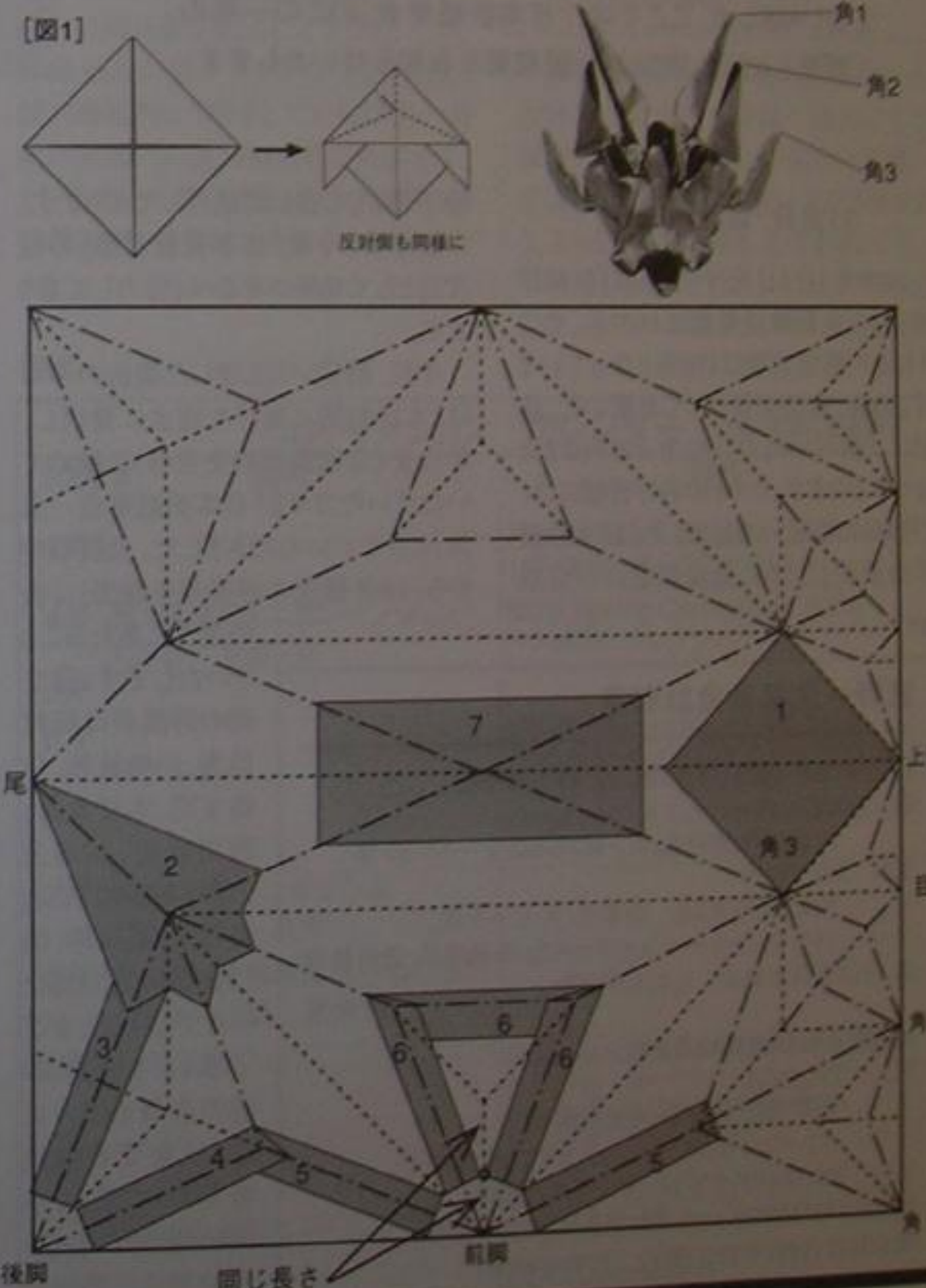
西川氏の新作です。「折り図は……いつになるか分かんないなあ。」とは西川氏本人のコメント。しかし、夏のコンベンションでは講習作品として折り方の説明が聞ける可能性もあるので、予習として取り組んでみてはいかがでしょうか?

折り紙はどうも歳時記的で、干支に始まり、節分、雛祭り、端午の節句、七夕、クリスマスなどなど。季節感のあることは結構なことだが、「そういうものから独立したもっと日常的な創作活動」と自らに命じているつもりでいて、忙しさが怠慢か理由はさておき、「さて、何か造ろうか」と思う時は師走である。5年まえから続けている一対の干支の折り紙年賀状。昨年も12月に入ってから、つらつら考えはじめ、なんとか年賀状に間に合った。

展開図は、いたってシンプルであろう。ざぶと折りできた一回り小さな正方形を図1の形に折れば展開図の基本的な骨組みができています。いったん開いて、展開図の山谷に従って組み上げる時に1のアミ掛け部分を「蛙の基本形」に畳んでいただきます(小さいカドが全部内側に入る方)。本作最大の難所、1のアミ掛け部分の中央が下顎となる。組上がった基本形に、2のアミをopen sink、次に3のopen sink、4はつぶし折りしてからclosed sink、6のアミは、ほぼ同時につぶし折りしてからclosed sink、5は6のsinkしたポケットに折って入れる感じにする。(3、4の幅は同じ。4の幅と5の幅は同じになる必要はない。5、6は同じ幅。この幅は展開図中矢印で示した長さで決まる。)6はどうおさめて良いか悩むかもしれないが、手順に従えば案外楽に折れる。折り図や講習

で紹介するときの山場の一つかもしれない。この一連で、前後脚に爪が出る。前脚は5本づめが可能だがclosed sink

する前に5、6を重ねて3本に。前後脚に爪が出たら、7をつぶし折りして写真を参考にポーズを決めて。



日本折紙学会(JOAS)から お知らせとお願い

「折紙探偵団新聞」を雑誌「折紙探偵団」として新装して、ちょうど1年を迎えることが出来ました。これも、読者、会員の皆様のおかげと感謝しております。

さて、1999年5月に雑誌「折紙探偵団」の発刊と同時に、「折紙探偵団」から「日本折紙学会」へと団体名称の変更を行い、これに伴って規約を整備し、組織体制を整えてまいりました。ここでは、「日本折紙学会」のこの一年のご報告とともに、次期の計画概要をお知らせいたします。

1) 会員・定期購読者

2000年3月9日付けで、雑誌「折紙探偵団」の定期購読者数は1807名、そのうち海外購読者数は170名となっています。当初、賛助会員としてお願いし、趣旨にご賛同いただいた方々は110名となっております。この110名の皆様には、2月4日に制定いたしました「日本折紙学会規約」とともに会員限定の不定期

冊子第1号を既にご送付しております。本冊子は、今後「日本折紙学会」の研究誌として発展させるべく努力して参ります。

今後、制定いたしました規約の中では、本誌冒頭に掲げた理念に賛同し、年会費(定期購読料を含む)を納めていただいた方々を「日本折紙学会 会員」とさせていただきます。会員の中から、10名程度の評議員を選出し、会

の運営にあたることといたします。設立時の評議員は岡村昌夫、川崎敏和、川畑文昭、木村良寿、西川誠司、羽鳥公士郎、布施知子、北條高史、前川洋、山口真の10名で当たらせて頂くことをご了承ください。その他の会員の方々は、総会での議決権をもって頂き、本会の運営に直接・間接的にご参加い

10期会員にご送付した冊子



ただきますようお願いいたします。この位置付けは次期(11期)会員からとし、6月30日までに11期会員として登録していただいた方々には、2000年8月4日に予定しております総会のご案内を、追ってさせていただきます。また、全ての11期会員の皆様には会員限定の不定期冊子2号をお送りすることができますよう努力いたします。

2) 吉野一生基金

海外折紙愛好家との交流を促進する目的で設立し、多くのみなさまのご寄付をいただいております「吉野一生基金」につきましても、正式に日本折紙学会が、管理運営を行うこととします。「吉野一生基金」の会計報告が遅れており、基金にご寄付頂いた方々にご心配をお掛け致しております。略儀ながら、この場をお借りして「吉野一生基金」の会計報告をさせていただきます。(表1)

本基金へは、毎年のべ150名以上の方々からご寄付をいただいております。多大な支援を下された皆様には、あらためて感謝申し上げます。また、「吉野一生基金」をより充実させるべく、

FROM the BOARD of JOAS (Summary)

- 1) We have 1,807 subscribers (including 167 overseas) and 110 members as of March 9th 2000. The board consists of around ten directors. They are currently Okamura Masao, Kawasaki Toshikazu, Kawahata Fumiaki, Kimura Yoshihisa, Nishikawa Seiji, Hatori Koshiro, Fuse Tomoko, Hojo Takashi, Markawa Jun and Yamaguchi Makoto.
- 2) Yoshino Issei Fund is to be managed by JOAS. We will

invite two persons this year.

- 3) We are going to hold the 6th convention on August 4-6 2000 at Toyo University, Tokyo.
- 4) The subscription fee of volume 11 is 3,600 yen for domestic or US\$40 for overseas (including postage). The membership fee of 2000 is 8,000 yen for domestic or US\$90 for overseas (including subscription fee and postage).

方のご予定、またご旅行のご計画にお役立てください。

4) お願い

第11期(61号-66号)につきまして本誌「折紙探偵団」の購読料値上げをご承諾いただきますようお願いいたします。第10期(55号-60号)は年間購読料3,000円の内から約780円(約130円×6回)の郵送費を捻出しておりましたが、財政逼迫の感がございます。今期は、国内購読料につきまして3,600円(一番あたり100円の送料相当のご負担です)とさせていただきます。11期の雑誌購読料、会費は次のようになります。

- 購読料(subscription fee, 61-66号)
国内3,600円(送料込み)
海外40 US\$ (including postage)
- 会費(membership fee from April, 2000 to March, 2001)
国内8,000円(購読料・送料込み)
海外90US\$ (including subscription fee and postage)

日本折紙学会初年度(1999年度)の会計報告は会員の皆様へ総会にてご報告いたします。誠に心苦しいお願いでございますがご理解いただきますようお願い申し上げます。

3) 折紙探偵団コンベンション・地方コンベンション・友の会

昨年8月には、第5回折紙探偵団コンベンションを東京成徳短期大学で開催いたしました。また、11月には折紙探偵団静岡友の会による第2回静岡コンベンションが開かれました。

本年8月4日(金)~6日(日)の3日間に亘って第6回折紙探偵団コンベンションを東洋大学をお借りして開催する運びとなりました。(8月4日に第1回の総会を予定しております。)また、これより先に4月29日には、静岡に続き2番目の地方コンベンションとなる折紙探偵団関西ミニコンベンションが京都府長岡京市にて開催されます。地方コンベンションは、雑誌「折紙探偵団」の読者組織である折紙探偵団友の会が自主運営するものです。折紙探偵団関西ミニコンベンションも折紙探偵団関西友の会の主催となるものであり、世話役となって頂いている皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。表2に海外を含め各地の折紙コンベンションをまとめました。お近くの

表2

コンベンション カレンダー			会報:本誌に記事あり
2000年	国内	海外	
3月		Pacific Coast Origami Conference (17-19日 サンフランシスコ)	
4月	第1回関西ミニコンベンション (29日 京都) ☆	BOS Spring Convention 2000 (15-16日 ケンブリッジ) ☆	
5月		MFPP Convention (1-4日 シャラント)	
6月		Origami Deutschland Convention (10-12日 ホーエンバルト)	
		OrigamiUSA Convention 2000 (23-26日 ニューヨーク) ☆	
7月	NOA折紙シンポジウム (30-8/1日 高知)		
8月	第6回折紙探偵団コンベンション・総会 (4-6日 東京) ☆		
9月		BOS Autumn Convention 2000 (15-17日 ヨークシャー)	
		South East Origami Festival (22-24日 シャーロット)	
10月			
11月	第3回静岡コンベンション (未定)	Origami Colombia 2000 (10-12日 カリ)	
12月		CDO Convention	

吉野一生基金会計報告

1996年12月-1999年3月 (96, 97, 98年度総合)

収入 1,929,194円
内訳(個人寄付金、コンベンションオークション等)
支出 507,254円
内訳(招待者2名 97年リック・ビーチ氏、98年ジュレミー・シェーファー氏、事務用品、通信費等)
差し引き基金繰越金 1,421,940円

1999年4月-1999年12月まで

収入 724,550円
内訳(個人寄付金:564,000円、コンベンションオークションなど:160,550円)
支出 200,000円(デビッド・デルダス氏招待)
99年度(12月時点) 差し引き残金:524,550円
残金総計(1999年12月現在) 1,946,490円

Rabbit Ear つまみおり Information

第6回折紙探偵団コンベンション 第4回吉野一生基金 海外招待作家募集開始

海外との折り紙交流を目的として設立された「吉野一生基金」は、折り紙愛好家の支えによって成り立っている基金で、今年もこの基金によって、折紙探偵団コンベンションに海外作家を招待することになった。また、本年度は2名の作家の招待をする予定である。

吉野一生基金 第4回海外招待作家募集要項

応募資格・条件

- 1) 現在、折り紙の創作活動に情熱をもって取り組んでいる個人。
- 2) 第6回折紙探偵団コンベンションの開催が予定されている2000年8月4・5・6日に日本に滞在し、コンベンションに全日参加する。
- 3) コンベンションでは講師(1-2時間)を担当する。また来日中の活動について報告書を作成する。
- 4) コンベンション期間内にギャラリーおりがみはうすでの自作品展示をする。

採用決定の連絡

応募者へは5月中旬に採否を連絡します。また、「折紙探偵団」61号(5月25日発行)誌上およびウェブページ上にも発表します。

応募者が複数の場合には、日本折紙学会内で組織する選考委員会(岡村昌夫、川崎敏和、川畑文昭、木村良寿、西川誠司、布庭知子、前川淳、山口真)で採否を決定します(これまでに折り紙交流としての来日経験のない若手作家が優先される可能性があります)。

6th Origami Tanteidan Convention

We Japan Origami Academic Society is going to hold The 6th Origami Tanteidan Convention on August 4-6 at Toyo University, Tokyo. More than 200 origami-lovers will enjoy many origami classes, classes in origami studies, and attractive events. In addition, you can share origami experiences with advanced designers or eager

beginners.

We exempt all foreigners from the admission fee of the 6th convention. We will welcome all of you to our convention 2000. Further information will be available in the magazine and our web site.

Also you can contact us by e-mail at webman@origami.gr.jp.

コンベンション日程決まる

2000年8月4日(金)、5日(土)、6日(日)

昨年は250名を超える参加者で大盛況となった「折紙探偵団コンベンション」。第6回は再び会場を東洋大学に移して開催されることになった。

1日目の8月4日は「日本折紙学会総会」及び「講演会」、2日目、3日目は昨年と同じく「折り紙教室大会」となる。詳細は次号以降に案内の予定。現在、「吉野一生基金招待作家」と「第6回コンベンション折り図集」の原稿を大募集中。なお、今年の吉野一生基金招待作家は2人と決まった。

会場は再び東洋大学

4th Yoshino Issei Fund Invitation

We have established Yoshino Issei Fund to commemorate the talented origami designer Yoshino Issei and invited foreign origamists to our conventions. This year, we would like to invite two foreign origamists to the 6th convention.

We are accepting candidates until the end of this April. We accept both recommendations and direct applications. The selection committee will decide who we invite and announce the conclusion this May in the magazine, our web site and directly to the winners. The members of the committee are Fuse Tomoko, Kawahata Fumiaki, Kawasaki Toshikazu, Maekawa Jun, Nishikawa Seiji, Okamura Masao, Kimura Yoshihisa, and Yamaguchi Makoto. The selected guests must attend the 6th convention and instruct some models. They must also supervise an exhibition at Gallery Origami House. Yoshino Issei Fund offers them 200,000 yen for traveling and staying expenses. We also advise on their stay.

Send us your application with the candidate's name, age, address, telephone number, fax number, e-mail address, and some works (photographs of the model, diagrams, or books).
Yoshino Issei Fund
c/o Gallery Origami House
#216, 1-33-8, Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0001, JAPAN

第1回 折紙探偵団 関西コンベンション開催迫る

折紙探偵団関西友の会が主催するコンベンションの開催が迫ってきました。1日だけのミニコンベンションですが、折り紙教室の講師陣は豪華な顔ぶれです。

関西 在住の折紙作家として、木下一郎さん、川村みゆきさん、世渡りさんなどの面々が参加します。また遠方から神谷哲史さん、前川淳さん、西川誠司さん、宮島登さん、北條高史さんなどが参加します。

1日の講習だけでは物足りないと言う方には、宴会のあとの宿泊と「徹折り」が待っています。関西での初の試みである「ミニコンベンション」にぜひご参加ください。(宿の予約には限りがあります。必要の方は早めにどうぞ)

会場:長岡京市産業文化会館
(京都府長岡京市開田3-10-1)

日程:2000年4月29日(土)

受付開始 10:00
全体会 12:30~
折り紙教室 13:00~17:00

閉会式 17:00~17:30
(場所移動)

懇親会 19:00~22:00(希望者のみ)

参加費*: 大人 3500円
子供(小学生以下) 2500円

懇親会*: 大人 5000円
子供(小学生以下) 3000円

懇親会+宿泊=10000円

*1 参加費には折り紙用紙、折り図などの料金が含まれます。

*2 懇親会はコンベンション会場とは別会場です(京都市内)。

参加申込方法

・59号つまみおりに記載。

・折紙探偵団のホームページでも申し込み用紙、資料のダウンロードが可能です。

URL: <http://www.origami.gr.jp/>
パスワード: Pyramid (大文字、小文字別)

◆おがみ数理三人展 in 富山 川崎敏和

富山 大学の東川(あずかわ)和夫先生主催の数学研究集会のサブイベントとして、同大の鈴木邦雄先生、川村みゆきさんと三人で「おがみ数理三人展」を行いました。

三人展は面白いと思います。共演者を意識するからです。会場の雰囲気がかめなかったため、「誰もいない部屋」作品群、雪の結晶、新作(開多面体群、紋理技法、川村さんを意識した桜玉)などをどっさり送って遊ばしてもらったことにしました。飾りつけは東川先生まかせだったので、展示を見たのは開演前日でした。

会場 の北陸電力エネルギー科学館「ワンダーラボ」は巨大な施設で、実験・体験ブースや3D映画館のある備わった作品が展示されていました。鈴木先生の「雪華(しらし)」はバックライトで

ショーアップされ、斜めからだと雪華が和紙に透き込まれているようにうっすらと見え、標本スタイルとはまったく違う雰囲気を醸し出していました。鈴木先生の熱心な指導ぶりが、青と白でまとめられた雪華の静けさと対照的でした。川村作品は色鮮やかでした。最新作の留め具「クイック・スナップ」(本誌特集参照)はねじれた三角筒で、中に通したカラフルな3本の帯を、野球ボールを支える3本のバットのよう形にカチッと固定します。クイック・スナップのねじれは帯に伝わり、ツイスター的構造の集合体を自然に生み出します。

今回 はたまたま理学(生物学、物理学、数学)三人展だったので幾何学的な色合いが濃くなりました。他の専門だとどんな感じになるのだろうか?と思いました。

展示会の魅力は外世界との接触です。コンベンションと違った刺激があります。科学館のスタッフや来場された方との交流、げんげ鍋、甘海老、銘酒万寿泉(ますいずみ)、立山連峰、酒饅頭、鯛寿司と美人女将(店に入った瞬間固まってしまうような美人でした)。雪祭、そして鈴木先生の雪華グッズコレクション。冬の富山を満喫しました。機会を作ってまた富山を訪れるつもりです。



熱心に指導する鈴木先生

◆折紙探偵団コンベンション 折り図集VOL.6 原稿募集のお知らせ

折紙探偵団コンベンション折り図集は、第1回目のコンベンションから毎年出版しているB5サイズの本で、今年はVOL.6の発行となる。毎号好評で、国内はもとより、海外のファンも多い。現在は昨年のVOL.5を残し全て完売している。

この折り図集の原稿は、コンベンションの講師を中心に、制作活動をしている折り紙作家、折り紙愛好家の方から作品折り図を提供していただく形で発行しているものである。内容、折り図共に毎年レベルアップし、ページ数も増えて折り紙愛好家にとっては貴重な資料となっている。

今年も愛好家にとって喜ばれる充実した内容の折り図集を目指して、ただ今、広く一般からの折り図を募集している。

折り図応募要項

原稿はデジタルデータ、手書きどちらでも可。応募資格:アマ・プロ、年齢不問。本誌購読者及び日本折紙学会会員である必要なし。

●応募作品

創作もしくはアレンジの作品で、自作の折り図に限る。(アレンジ作品の場合は、オリジナル制作者の了解を取った上で、名前も明記すること。)

原稿サイズ:B5(指定のフォーマットに沿ったもの)
締切:2000年6月10日(土)事務局必着
投稿希望者には、詳しい規定とフォーマットを送付。詳細は事務局まで。またこのフォーマットは折紙探偵団のホームページでも配布中。

事務局TEL&FAX:03-5684-6080

We are accepting any diagrams for Origami Tanteidan Convention Book volume 6. The format is available from our web site. They can be computer-generated or handwritten.



バックライトでショーアップされた「雪華」

◆BOS春のコンベンション (Dave Brillさんから)

British Origami Societyは春のコンベンションをケンブリッジのFitzwilliam Collegeで2000年4月15日と16日の二日間行います。イギリス全土から、またヨーロッパの国々から、およそ100名の参加者が見込まれています。

今回のスペシャルゲストはカリフォルニアのYami Yamauchiさんです。彼はOrigami USAのコンベンションで講師として活躍しており、最近「Yami's Origami」という著書を出しました。

コンベンションに参加するためには、BOSの会員である必要はありません。参加費は無料です。食事と宿泊の費用のみご負担ください。あらかじめ予約をしていただければ、大学の施設が利用できます。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

参加申し込みはウェブページ(<http://www.britishorigami.org.uk/>)で受け付けています。

お問い合わせ先
David Brill
3 Worth Hall Middlewood Road Poynton
Stockport SK12 1TS tel:01625 872509
brill@worthhall.demon.co.uk
または
Penny Groom
2a The Chestnuts Countesthorpe Leicestershire LE8 5TL tel/fax:0116 2773870
penny.groom@btinternet.com

◆東京友の会「折り紙飛行機大会」レポート

関西に続き、東京も折り紙探偵団友の会となりました。2月26日の例会で、250人はゆいに入大会場(初期のコンベンションで使った部屋)を、たったの31人で占領して第一回折り紙飛行機大会と相成りました。インドアライトプレーン(折り紙じゃないよ)世界チャンプの山梨雅弘さんの実演の後、熱戦の果てに史上初の優勝の栄冠(当たり前か)を手にした人は、飛距離部門は第二代折り紙TVチャンピオンの北條高史さん(9.1m)、滞空時間部門は折り紙作家山口真さん(4.15秒)。なーんだ。優勝賞品は世界チャンプお手製のライトプレーンでした。「久々に楽しい例会だった。」などと漏らす市役所員もいたとかで、さあ今度はビョ

ンピングエルマラソンでもやろうかな。(す、すると賞品は北條さんの実験用のアフリカツメガエルか...)

(折り紙探偵団東京友の会)

参加者からのお便り

折り紙飛行機大会は、子供の心を持った大人達や本当の子供がいたりして、随分にぎやかな会でした。面白かったアス。私が感心したのは、小学2年生の男の子で、折り図がちゃんと読めて角と角を実にきちんと合わせてしっかり折っていたことです。飛行機大会に、「飛ばないから参加しないワ」と私が言うと、「やってみなきゃわかんないでし」そう言われました。将来が楽しみな子供さんでした。いろいろ反省もいたしました...。(東京都:磯野昌子)

◆例会のお知らせ 東京友の会

●例会が毎月第1土曜日に
4月の例会は関西コンベンション開催日と重なる為22日に変更、その後は毎月第一土曜日に変わります。5月は4月例会と日付が近いことから、例会はありません。

会場=文京区民センター
参加費=大人400円(中学生以下半額)
※おがみは各自持参をお願いします。

4月=22日(土)
講習会=午後2時から、講師:羽鳥公士郎、作品:バラ2題/研究会=午後4時から
6月=3日(土)
講習会=午後2時から、講師:北條高史作品:暫の顔(なるべく大きいおがみと、持っていれば「暫」掲載の本誌59号持参のこと)/研究会=午後4時から

編集後記

●本誌の今号、PODCのコンベンションへ参った。今日は本誌上にも紹介された作品をいくつか持っていき、展示する。神楽坂の「コンベンション」会場は、小形氏の「鳥」など、若手作家の作品がパワーはどうかと受け止められる。昨年の探偵団コンベンションに来てくれた友人達や、後援している東京友の会にも参

しました。(Y.M.)
●各地の探偵団友の会がインターネットや例会を通じて盛り上がりつつある。特に、神楽坂の会もこれからは定例会を行うことになったとか。関西コンベンションには私も参加予定で、今から楽しみ。ネットワークが広がるって、すごいことだと思います。(M.R.)

●ORIGAMIANTHESIA / No.60 / Published on 25, March 2000 by Japan Origami Academic Society, 1-33-8-216
Hakusan Bunkyo-ku 113-0001 Tokyo JAPAN / Cover Photo: "Eastern Dragon" Produced by Nishikawa Seiji / Photographed by Sato Hiroshi / Publisher: Nishikawa Seiji / Editor in Chief: Yamaguchi Makoto / Editor: Matsuura Eiko, Harada Takayuki / Editorial Design: ORIGAMI HOUSE

◆OUSAコンベンション (Jan Polishさんから)

Origami USAのコンベンションは2000年6月23日から26日まで、ニューヨークのFashion Institute of Technologyで行われます。安全で安価な大学寮も利用できます。日本から参加して下さる方々に対しては最大限の援助をお約束します。

参加申し込みは4月以降にウェブページで受け付けます。(<http://www.origami-usa.org/>)
お問い合わせ先
Ms. Jan Polish E-mail: jpolish@att.net
※詳細は次号掲載予定。(編集部)

上記海外コンベンションに参加される方で、一緒に行く人を探している方は、事務局までご連絡下さい。

◆田中具子作品展

本誌でも好評連載中の田中具子さんの「色紙百花」。その「折り紙色紙百花作品展」が、おがみはうすで開催される。

おがみはうす発行の「折り紙色紙百花」掲載作品はもちろんのこと、近年の新作も含めた四十数点の作品が額装展示される。ご婦人の折り紙好きには見逃せない折り紙展である。

期間/4月11日~5月31日
場所/ギャラリーおがみはうす
営業時間/10:00~18:00(日・祝休)
交通/都営三田線白山駅
場所/白山駅A1出口から徒歩1分
(通り向いの朝日白山マンション2階、A1出口から右斜め上方向に看板が見えます)

●おたより大募集

宛先
113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216
ギャラリーおがみはうす内
折り紙探偵団編集部
E-mail webman@origami.gr.jp

折り紙探偵団

2000年3月25日発行
第10巻6号通巻60号
発行所/日本折紙学会
〒113-0001
東京都文京区白山1-33-8-216
Phone & Fax / 03-5684-6080

発行人/西川誠司
編集人/山口 真
編集スタッフ/松浦英子
折り図制作・デザイン/おがみはうす
発売元/おがみはうす

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
定価 500円

おがみはうす新刊&新商品案内

長い間お待ちしました。「折紙図鑑・昆虫」が発売となります。

■折紙図鑑「昆虫」第1巻 4月末発売決定!

ついに予約受付開始!!

予約方法は他の商品の申し込み方法と同じです。
本が刷り上がり次第発送となります。

「折紙図鑑・昆虫」分冊化のお知らせ

度重なる増ページと修正のため、400ページを超える構成となり、厚くなりすぎて折り紙の本としては不適切と考え、やむなく分冊となりました。第1巻は川畑文昭、西川誠司共著。4月末発売。第2巻は北條高史、前川淳、目黒俊幸共著。夏頃発行の予定となります。ご了承下さい。

編集責任者コメント

「遅くなってすみません。」やまぐち うそ

■折紙図鑑「昆虫 II」

B5判 全196ページ
カラー口絵 4ページ
北條高史、前川淳、目黒俊幸共著
世界で一番難しい折り紙の本第2弾
※まだ2巻の予約は受け付けていません。ご注意下さい。



飛翔カブト
前川淳作

おがみはうす ガレージブックス

おすすめ!

折り紙色紙百花

田中具子・著 山口 真・編 女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル。
B-5判/120ページ/カラー口絵8ページ/定価2,500円(税込)送料390円(梱包込)

面~The Mask~

布施知子・著 山口 真・編 作者がまだユニット折り紙に出会う前の情熱の作品群
B-5判/200ページ/全27作品カラー写真紹介/定価3,300円(税込)送料460円(梱包込)

好評発売中

一生スーパーコンプレックスおがみ

B-5判200ページ カラー口絵8ページ 吉野一生 著
定価2,900円(税込)送料460円(梱包込)

ティラノサウルス全身骨格折り図

B-5判 76ページ 吉野一生 著
定価1,545円(税込)送料390円(梱包込)

第5回 折り紙探偵団コンベンション折り図集

B-5判256ページ
定価2,000円(税込)送料420円(梱包込)

「折り紙探偵団」専用ファイル

変形B-5判/雑誌「折り紙探偵団」1年分(6冊)収録可能
定価750円(税込)送料250円(梱包込)

只今制作中

折紙図鑑「犬」/佐野康博・著 犬折り紙第一人者の作品集
西川誠司折り紙作品集/西川氏初の作品集('00年夏刊行予定)

GALLERY ギャラリー

おがみはうす
〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216
TEL: (03) 5684-6040 FAX: (03) 5684-6080
E-mail: origami@remus.dti.ne.jp

広告のコーナー



■折るころ

A4判 全108ページ
フルカラー48ページ
指導:岡村昌夫
定価:1400円(税込)
送料:420円(梱包込)

本誌57号岡村氏の連載で詳しく紹介された「折紙の歴史展」の図録。折紙の貴重な歴史的資料満載で、折紙博士を自称するなら必携の一冊。



折るころ

I ♥ ORIGAMI

はうすオリジナル 折り紙専用和紙

和紙両面おがみ

2枚の民芸紙を貼り合わせて作りました。折り筋が付きやすく、もみ紙の風合いが作品づくりの幅を広げます。
サイズ/30cm×30cm 5色調/20枚入 定価1,350円
送料:1セット/390円(梱包込) 2セット/580円 3~4セット/700円

折り紙色紙百花用

「はな」
手書き手始めの和紙です。手触りももともと、味のあるほかしめは、田中作品に使うことで100%の実力を発揮します。
定価2,500円(税別)送料300円(梱包込)

折り紙色紙百花用

「はな」
手書き手始めの和紙です。手触りももともと、味のあるほかしめは、田中作品に使うことで100%の実力を発揮します。
定価2,500円(税別)送料300円(梱包込)

ユニット作品絵はがきセット

1セット/18種類 定価1500円 送料160円
※おがみはうすのユニット作品を絵はがきにしました。

おがみはうすの申し込み方法

郵便振替で現金書留で料金(商品価格+送料)を送って下さい。
ご希望の商品名と連絡先の記入をお忘れなくお願いします。
(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入して下さい。)
入金を確認次第、商品を送らせて頂きます。
郵便振替番号 00120-9-715400
加入者名 おがみはうす

●複数商品ご注文の場合は、送料が変わってきます。電話又はメールでお問い合わせください。